

献 血

～ふみ出そう 未来をつくる 献血に～



令和3年度



長崎県福祉保健部薬務行政室

はじめに

本県の血液事業は、昭和39年9月に佐世保赤十字血液センターが献血業務を開始して以来、県民の皆様方の温かい善意と市町はじめ関係の方々のご支援、ご努力により順調に伸展してまいりました。

令和2年度は、県民の4.2%にあたる54,947人の方々に献血していただき、事業開始以降の献血者数は延べ約447万人に達し、多くの尊い命が県民の皆様方の善意の献血により救われました。

これもひとえに、献血者の皆様のご理解とご協力、並びに血液事業の推進に携わってこられた関係者のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて、近年の献血を取り巻く状況は、少子高齢化による若年層を中心とした献血可能人口の減少に加え、これからの献血基盤を支える20代、30代の方の献血率が減少傾向にあり、将来の血液製剤の安定供給が危惧されております。

こうした状況を踏まえ、国は、将来の血液の安定供給体制を確保するため、令和3年度から令和7(2025)年度までの5年間で達成を目標とした「献血推進2025」を設定し、(1)献血の普及啓発、(2)若年層対策の強化、(3)安心、安全で心の充足感が得られる環境の整備などの施策を講じているところです。

また、本県におきましても、毎年度献血推進計画を定めており、令和2年3月には「令和2年度長崎県献血推進計画」を策定し、長崎県赤十字血液センター、市町等と連携して若年層をはじめとする県民各層への普及啓発、高校生を対象に献血をテーマにしたCMコンテストの実施や献血について分かりやすく説明する献血セミナーの実施、400mL献血の推進及び血液製剤の使用適正化の推進等に取り組んでいます。

今後とも、関係機関との連携を図りながら、献血思想の普及啓発や血液製剤の使用適正化を推進し、安全な血液製剤の安定供給の確保に引き続き努めてまいりますので、関係者の皆様には、引き続き血液事業の重要性をさらにご理解いただき、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この冊子は令和2年度の本県の血液事業の現状についてまとめたものであり、献血推進のための参考にしていただければ幸いです。

令和3年11月

福祉保健部薬務行政室長
齊宮 広知

目 次

| | | |
|-----|---------------------|----|
| 1 | 献血の推進 | 1 |
| 1-1 | 献血推進機構 | 4 |
| 1-2 | 献血推進キャンペーン | 6 |
| (1) | 愛の血液助け合い運動 | 6 |
| (2) | 献血運動推進全国大会 | 8 |
| (3) | 令和2年度長崎県献血功労者表彰 | 9 |
| (4) | 「全国学生クリスマス献血」キャンペーン | 11 |
| (5) | 「はたちの献血」キャンペーン | 11 |
| 1-3 | 献血者登録制度 | 12 |
| (1) | 複数回献血クラブ「ラブラッド」 | 12 |
| (2) | 献血者登録制度の現況 | 13 |
| 2 | 長崎県の献血状況 | 14 |
| 2-1 | 献血希望者数 | 14 |
| 2-2 | 献血不適格者数 | 16 |
| 2-3 | 献血者数 | 22 |
| (1) | 献血者の年度別推移 | 22 |
| (2) | 年度別献血目標、献血者数及び達成率 | 24 |
| (3) | 献血者の月別推移 | 26 |
| (4) | 受け入れ施設別献血者数 | 28 |
| (5) | 性別献血者数 | 30 |
| (6) | 年齢別献血者数 | 32 |
| (7) | 職業別献血者数 | 34 |
| (8) | 高校生の献血状況 | 36 |
| (9) | 初回献血者数 | 38 |
| 3 | 血液製剤の製造・供給状況 | 39 |
| 3-1 | 献血後の各種検査 | 39 |
| (1) | 検査項目等 | 39 |
| (2) | 検査結果 | 40 |
| 3-2 | 血液製剤の供給状況 | 43 |
| (1) | 全体の供給状況 | 43 |
| (2) | 製剤別供給状況 | 43 |
| 3-3 | 血液製剤の供給方法 | 48 |
| 3-4 | 離島における血液製剤使用状況 | 49 |
| 4 | 令和3年度献血計画 | 50 |
| (1) | 献血目標 | 50 |
| (2) | 令和3年度保健所別献血目標 | 50 |

参 考 資 料 編 目 次

[一 般 事 項]

| | | |
|-----|----------------------------------|-----|
| 1 | 血液の組成 | 5 1 |
| 2 | 血液型 | 5 2 |
| 3 | 全血量 | 5 2 |
| 4 | 採血基準 | 5 3 |
| 5 | 献血の種類 | 5 4 |
| 6 | 献血の実際 | 5 6 |
| 7 | 血液製剤の種類 | 5 9 |
| 8 | 検査サービス | 6 4 |
| 9 | 血液製剤の価格 | 6 6 |
| 1 0 | 令和2年度長崎県献血推進協議会開催状況 | 6 8 |
| 1 1 | 令和2年度保健所地区献血担当者会議開催状況 | 6 7 |
| 1 2 | 「令和2年度長崎県献血功労者表彰式」における知事感謝状贈呈団体等 | 6 9 |
| 1 3 | 長崎県献血推進大会等開催状況 | 7 0 |
| 1 4 | 献血運動推進全国大会等開催状況 | 7 5 |

[血 漿 分 画 製 剤 の 需 給 状 況 と 自 給 率]

| | | |
|---|-----------|-----|
| 1 | 血液凝固因子製剤 | 8 2 |
| 2 | アルブミン製剤 | 8 3 |
| 3 | 免疫グロブリン製剤 | 8 3 |

[基 本 方 針 ・ 各 種 計 画]

| | | |
|--|----------------------------------|-------|
| | 血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針 | 8 4 |
| | 令和3年度の献血の推進に関する計画 | 9 7 |
| | 令和3年度長崎県献血推進計画 | 1 0 2 |

[要 綱 等]

| | | |
|--|--------------------|-------|
| | 長崎県献血推進協議会運営要綱 | 1 0 8 |
| | 長崎県献血推進協議会委員名簿 | 1 1 0 |
| | 市(町)献血協力会運営要綱(案) | 1 1 1 |
| | 長崎県献血者登録制度推進事業実施要領 | 1 1 2 |
| | 血液事業の経緯 | 1 1 4 |
| | 献血申込書(診療録)・問診票 | 1 1 7 |
| | 問い合わせ先 | 1 1 9 |

1 献血の推進

昭和39年3月24日に発生したライシャワー駐日アメリカ大使刺傷事件で売血制度が大きな社会問題となり、血液事業に関する諸問題について根本的な再検討が政府内で行われた結果、保存血液の供給は献身体制の確立によって行われるべきであるとの結論を得て、昭和39年8月21日「献血の推進について」の次のような閣議決定が行われ、現在の献血運動が全国的にスタートしました。

献血の推進について

昭和39年8月21日

閣議決定

政府は、血液事業の現状にかんがみ可及的速やかに保存血液を献血により確保する体制を確立するため、国及び地方公共団体による献血思想の普及と献血の組織化を図るとともに、日本赤十字社または地方公共団体による献血受入体制の整備を推進するものとする。

長崎県では昭和39年9月に佐世保市に血液センターが設置され、現在の献血制度が確立されました。その後長崎市にも血液センターが設置され、平成24年3月まで2か所の血液センターで業務を行っていましたが、平成24年4月から長崎県佐世保赤十字血液センターを長崎県赤十字血液センター佐世保出張所へ組織改正を行い、1センター体制となっています。

また、平成15年7月30日には「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（いわゆる血液法）が施行となり、これまで昭和39年の閣議決定により推進してきた本事業が法制化され、血液事業の運営指針となる基本理念が設定されるとともに、国をはじめとする関係機関の責務が明確化されました。

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（抜粋）

平成14年7月31日公布

平成15年7月30日施行

（目的）

第一条

この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。

（基本理念）

第三条

血液製剤は、その原料である血液の特性にかんがみ、その安全性の向上に常に配慮して、製造され、供給され、又は使用されなければならない。

2 血液製剤は、国内自給（国内で使用される血液製剤が原則として国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造されることをいう。以下同じ。）が確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されるようにしなければならない。

3 血液製剤は、献血により得られる血液を原料とする貴重なものであること、及びその原料である血液の特性にかんがみ、適正に使用されなければならない。

4 国、地方公共団体その他の関係者は、この法律に基づく施策の策定及び実施に当たっては、公正の確保及び透明性の向上が図られるよう努めなければならない。

本県の血液事業のこれまでの歩みは、以下のとおりとなっています。

【 本県における献血の経過 】

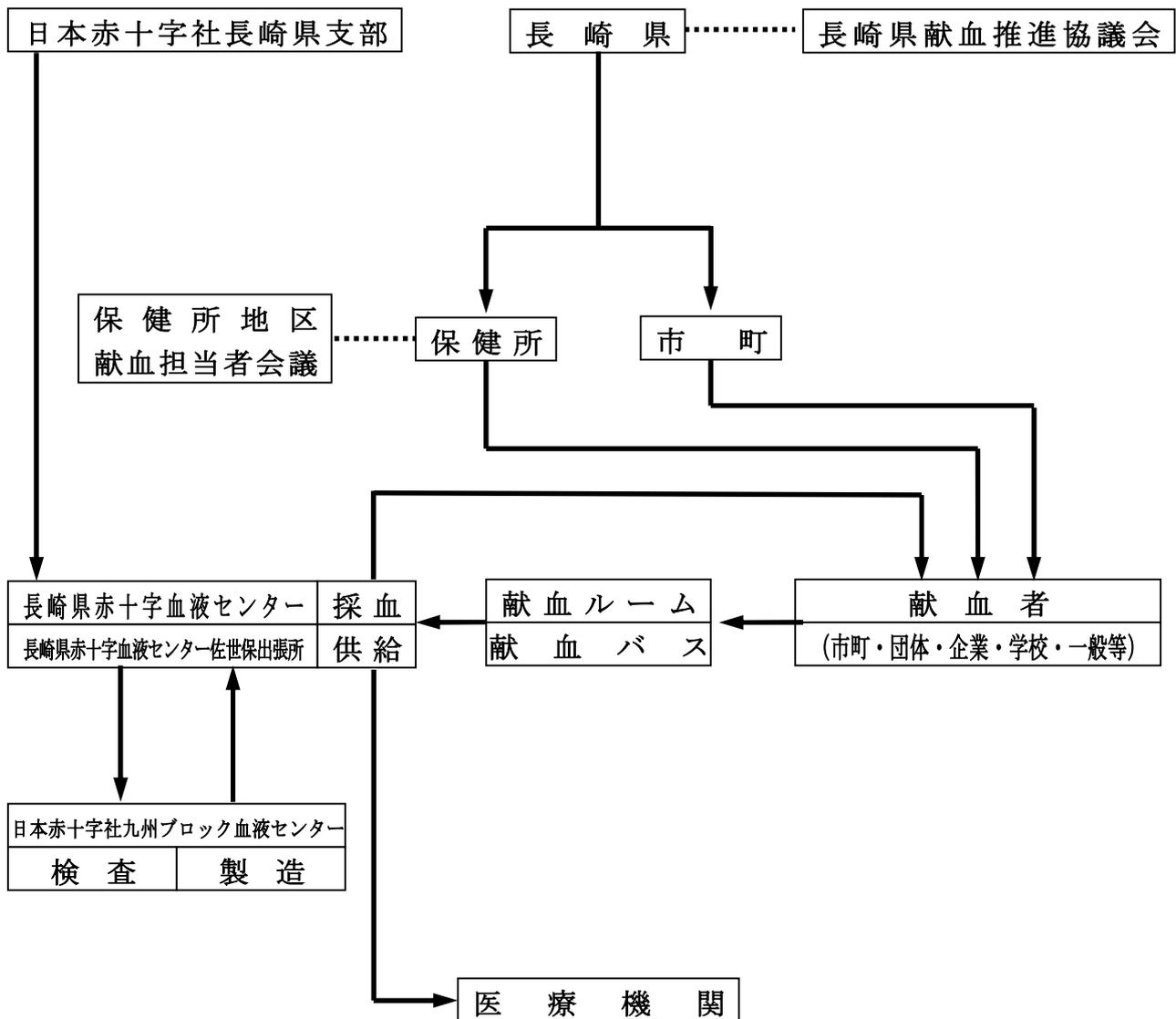
| | |
|----------|---|
| 昭和39年 8月 | 「献血の推進について」閣議決定 |
| 昭和39年 9月 | 佐世保赤十字血液センター業務開始 |
| 昭和39年10月 | 長崎県献血推進協議会設置 |
| 昭和42年 4月 | 売血制度廃止、献血一本化 |
| 昭和42年 8月 | 長崎県赤十字血液センター業務開始 |
| 昭和43年 | 離島地区に保存血液の備蓄・供給開始 |
| 昭和44年 | 全保健所に献血推進連絡協議会設置 |
| 昭和49年 | 献血推進員設置 |
| 昭和51年 | 血液成分製剤製造、供給開始 |
| 51年～53年 | 離島地区（福江、有川、郷ノ浦、巖原）で血液成分製剤の備蓄、供給開始 |
| 昭和57年 7月 | 献血者延べ100万人突破 |
| 昭和60年 7月 | 献血ルーム「はまのまち」オープン |
| 昭和60年 9月 | 献血者延べ150万人突破 |
| 昭和61年 4月 | 新しい献血方法（400mL献血、成分献血）の導入 |
| 昭和61年 4月 | 血液製剤使用適正化普及事業の実施 |
| 昭和61年10月 | 献血者登録制度の開始（献血者登録制度推進員の設置 94名） |
| 平成元年 3月 | 長崎県赤十字血液センター新築、移転 |
| 平成元年 5月 | 献血者延べ200万人突破 |
| 平成 3年 3月 | 献血ルーム「西海」オープン |
| 平成 4年 2月 | 血液製剤使用に係わる懇談会設置 |
| 平成 4年12月 | 人赤血球濃厚液にMAPの導入開始（有効期間が21日から42日に延長） 血液成分製剤返品基準の改訂 |
| 平成 5年 6月 | 献血者延べ250万人突破 |
| 平成 6年 9月 | 長崎県献血推進30周年記念式典 |
| 平成 7年 4月 | 日赤の献血功労表彰制度改正（献血回数すべて1回にカウントなど） 赤血球MAP製剤の有効期間短縮（42日間→21日間） |
| 平成 7年 6月 | 血液問題検討会「輸血用血液製剤の安全性に関する報告」 |
| 平成 7年 7月 | 献血時の問診強化（問診票全国統一化、署名導入など） |
| 平成 9年 2月 | 冬場の献血者確保対策の一環として「1,000人献血」イベントの実施 |
| 平成 9年 4月 | 保健所地区献血推進連絡協議会に代わり、新たに保健所地区献血推進市町村 等連絡調整会議の設置 |
| 平成 9年 9月 | 血液製剤に関する記録の保管・管理義務付け |
| 平成 9年12月 | 血液行政の在り方に関する懇談会報告書 |
| 平成10年 5月 | 献血者延べ300万人突破 |
| 平成10年 6月 | 放射線照射血製造・供給開始 |
| 平成11年 4月 | HTLV-1抗体陽性者通知開始 佐世保赤十字血液センター新築、移転 |

- 平成11年 6月 「血液製剤の使用指針」「輸血療法の実施に関する指針」制定
- 平成11年10月 ウインドウ・ピリオド期間を短縮するNAT検査（核酸増幅検査）導入
- 平成12年 2月 問診の改正（クロイツフェルト・ヤコブ病感染対策）
- 平成12年 3月 問診票の改正（エイズ感染対策）
- 平成13年 3月 全輸血用血液製剤に対する核酸増幅検査（NAT検査）の義務づけ
問診の強化（クロイツフェルト・ヤコブ病感染対策、対象国の拡大）
- 平成13年 7月 「第1回長崎県献血感謝の集い」の開催
- 平成13年11月 「第1回長崎県献血推進キャンペーン」の開催
- 平成14年 4月 長崎・佐世保両血液センターの運営一体化に伴い、佐世保赤十字血液センターを長崎県佐世保赤十字血液センターへ改称
- 平成15年 3月 問診の強化（海外からの帰国者への対応等）
- 平成15年 7月 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律の施行（H14.7公布）
改正薬事法（生物由来製品に関する部分）の施行
- 平成17年 1月 献血者延べ350万人突破
- 平成17年 2月 国内初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の患者を確認
- 平成17年 4月 長崎県献血推進本部の設置（平成20年6月廃止）
- 平成17年 6月 欧州滞在歴に関する問診の強化（変異型クロイツフェルト・ヤコブ病伝播防止対策）
- 平成18年10月 献血健康被害救済制度の開始
- 平成20年 1月 九州各県血液センターの検査業務を福岡県久留米市の日本赤十字社九州血液センターに集約
- 平成20年 3月 九州各県血液センター（沖縄県除く）の製剤業務を日本赤十字社九州血液センターに集約
- 平成21年 7月 第45回献血運動推進全国大会を佐世保市（アルカスSASEBO）で開催
- 平成23年 4月 採血基準の改定、問診の強化（安全対策の強化）
- 平成24年 4月 九州ブロック血液センターの新設
長崎県佐世保赤十字血液センターを長崎県赤十字血液センター佐世保出張所へ組織改正
- 平成24年11月 献血者延べ400万人突破
- 平成26年 3月 献血ルーム「西海」がリニューアルオープン
- 平成26年11月 長崎県献血50周年記念式典
- 平成27年 3月 血液センター母体における採血業務を休止
- 平成28年 3月 島原地区一部を除き、医療機関への血液製剤の委託配送を終了
- 平成29年 4月 長崎県内全ての血液製剤の委託配送を終了し、医療機関への直接配送を開始
- 平成31年 3月 県内備蓄医療機関との備蓄契約を解消

1-1 献血推進機構

本県においては、献血思想の普及並びに献血者の組織化を図るため、長崎県献血推進協議会を設置するとともに、保健所単位に保健所地区献血担当者会議を、市町、事業所単位に献血協力会を結成し、血液センターと以下のような連携のもと献血推進に取り組んでいます。

【 献 血 推 進 の 機 構 図 】 （令和3年3月末現在）



【 献 血 推 進 組 織 】 (令和3年3月末現在)

| 業 務 | 機 関 |
|-------|---|
| 普及・啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県（薬務行政室） <ul style="list-style-type: none"> ・長崎県献血推進協議会（会長1人、委員28人、幹事1人） 長崎県献血推進協議会運営要綱 ○ 保健所 <ul style="list-style-type: none"> ・保健所地区献血担当者会議（仮称：名称は各保健所長に委ねられる） ○ 市町 <ul style="list-style-type: none"> ・市町献血協力会（委員：市町の判断に委ねられる） ○ 日本赤十字社長崎県支部 ○ 血液センター（長崎、佐世保） |
| 採血業務 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 長崎県赤十字血液センター <ul style="list-style-type: none"> 管轄区域：長崎市、西彼（長与町・時津町）・県央(旧大村保健所管内を除く)・ 県南・五島・対馬の保健所区域 管内人口：797,149人（R3.3.1現在 県統計課調べ） 採血機能：献血ルーム「はまのまち」…10ベッド 採血バス…3台（延べ12ベッド） ○ 長崎県赤十字血液センター佐世保出張所 <ul style="list-style-type: none"> 管轄区域：佐世保市、西彼（西海市）・県央(旧諫早保健所管内を除く) 県北・上五島・壱岐の保健所区域 管内人口：508,456人（R3.3.1現在 県統計課調べ） 採血機能：献血ルーム「西海」…11ベッド 採血バス…2台（延べ8ベッド） |
| 供給業務 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 長崎県赤十字血液センター <ul style="list-style-type: none"> ・県内医療機関へ直接供給（直配） |
| 使用適正化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県（薬務行政室）及び長崎県赤十字血液センター 合同輸血療法委員会及び輸血研修会の実施 |

(注)製剤業務について・・・平成20年3月に福岡県久留米市の日本赤十字社九州血液センターに沖縄県を除く九州各県血液センターの製剤業務を集約（その後平成31年3月に沖縄製造所は閉所）

1-2 献血推進キャンペーン

(1) 愛の血液助け合い運動

毎年7月を「愛の血液助け合い運動」月間として、同運動が全国的に展開されています。

長崎県においても、県、日本赤十字社県支部及び血液センターと密接な連携を保ちながら運動計画を策定し、市町、各種団体、報道機関及び一般県民の協力を得て、血液についての正しい知識や献血の重要性についての認識の浸透を図るなど、献血思想の普及啓発を行っています。

令和2年度については、以下のような運動を実施しました。

【 令和2年度「愛の血液助け合い運動」実施結果 】

| 事業主体 | 実施内容 |
|-------|--|
| 長崎市 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報ながさき7月号に掲載 ・市内高等学校等(高校23校、医療技術専門学校 5校)を訪問し、「愛の血液助け合い運動」ポスター等の配布及び献血への協力を依頼(6/24.25) ・献血啓発用ポスター、うちわを関係機関79か所に配布(6/24) ・市役所本館2階及び別館玄関掲示板にポスターを掲示(6/25～7/31) ・市役所西側広場で献血車による献血を実施(7/31) |
| 佐世保市 | <ul style="list-style-type: none"> ・市関係施設へのポスターの掲示、うちわの配布による広報 ・市広報誌、市ホームページへの掲載 ・サマー献血キャンペーン(7/11,12)のプレスリリースによる広報 ・親子献血教室実施に伴う市ホームページへの掲載 |
| 西彼保健所 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健所内へポスター掲示及び啓発用チラシの窓口設置 ・管内市町へ啓発用車両パレードを実施。西海市一円、長与町及び時津町一円(7/8.31) ・薬物乱用防止セミナーにおいて、チラシを配布し献血協力を呼びかけ(7/6) ・「西海市・西彼杵郡学校保健会高等学校・特別支援学校養護教諭部会」との連絡会において、献血セミナーの継続した実施及び校内献血の協力依頼を実施(7/29) ・令和2年度西彼保健所地区献血担当者連絡会議の実施(7/30) |
| 管内市町 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設へポスター掲示とチラシを配布(西海市、長与町、時津町) ・広報紙への掲載(7月号)(西海市、長与町) ・特定検診結果説明会にて、うちわを配布(西海市) ・町内商業施設で献血を実施(7/5,8,9,12,16,19)(時津町) |
| 県央保健所 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター掲示、啓発用チラシ等の窓口設置 ・管内各市町への啓発用チラシ・ポスター・うちわの配布及び広報依頼 ・令和2年度県央保健所地区献血担当者連絡会議の実施(7/27) |

| | |
|--------|--|
| 管内市町 | <ul style="list-style-type: none"> ・懸垂幕等の設置による広報活動(諫早市) ・広報誌による広報活動(諫早市、東彼杵町、川棚町、波佐見町) ・公共施設等へポスターの掲示、啓発用チラシの配布(諫早市、大村市、東彼杵町、波佐見町、川棚町) ・町内放送の実施(波佐見町) ・長崎県献血功労者表彰式に出席(諫早市) ・エフエム諫早への放送依頼(諫早市) ・市町内で献血を実施(東彼杵町、波佐見町) ・市町ホームページでの広報(大村市、波佐見町) ・NBCデータ放送、茶子ちゃんねる(行政情報発信アプリ)による広報(東彼杵町) |
| 県南保健所 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健所窓口における啓発用チラシの設置、ポスターの掲示及び管内市へ啓発用資材の配布 ・地元FMラジオ局による当該運動の広報(7/2) ・令和2年度県南保健所地区献血担当者連絡会議の実施(7/28) |
| 管内市町 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌による広報活動(雲仙市、南島原市) ・ホームページによる広報活動(島原市、雲仙市、南島原市) ・市庁舎及び公民館等におけるポスターの掲示(島原市、雲仙市、南島原市) ・防災無線による献血日程の周知(雲仙市) ・市内献血の実施(島原市、雲仙市、南島原市) ・FMしまばら毎日献血日程等についてラジオ放送(南島原市) |
| 県北保健所 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健所内にポスター掲示及び啓発用資材の窓口設置。 ・管内市町へ啓発資材を配布。 ・薬物乱用防止指導員へチラシを配布。 ・令和2年度県北保健所地区献血担当者連絡会議(書面)の実施 |
| 管内市町 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの掲示(平戸市、松浦市、佐々町) ・啓発用うちわの配布(平戸市) ・市広報掲載(松浦市、佐々町) ・市ホームページ、NBCデータ放送に掲載(佐々町) |
| 五島保健所 | <ul style="list-style-type: none"> ・振興局及び保健所内での啓発用ポスター掲示及び啓発用チラシ等の設置 ・管内市へ啓発用チラシ、ポスターうちわの配布及び広報依頼 ・令和2年度五島保健所地区献血担当者連絡会議の実施(8/11) |
| 管内市 | <ul style="list-style-type: none"> ・本庁、支所へのポスター掲示、配布 |
| 上五島保健所 | <ul style="list-style-type: none"> ・啓発用ポスターの掲示、啓発用チラシの設置 ・管内町への啓発用資材の配布 ・新上五島町内にて実施した「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーンでの啓発用チラシ及びうちわの配布(7/7) ・各事業所への島内献血の協力依頼及び広報車を用いた広報(巡回献血時の職員へのメール協力依頼、町内事業所訪問、広報車での広報活動) |

| | |
|------------------------|--|
| 管内町 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの掲示(公共施設、町内各団体等)(小値賀町、新上五島町) ・町内放送の実施(新上五島町) ・各家庭へ案内文書を回覧(新上五島町) ・事業所へ協力依頼文書を送付(小値賀町、新上五島町) |
| 壱岐保健所 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター掲示、啓発用チラシの窓口設置 ・管内市へ啓発用ポスター・チラシの配布及び広報依頼 ・壱岐巡回献血の会場で啓発用うちわを配布し、献血協力の呼びかけの実施 |
| 管内市 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設におけるポスターの掲示、チラシ配布 ・市内献血の実施と協力呼びかけの実施 ・壱岐市ケーブルテレビにて献血協力の呼びかけを実施 ・市ホームページに情報掲載 ・市広報誌7月号に情報掲載 ・行政無線を活用した献血協力の呼びかけを実施 |
| 対馬保健所 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健所内において啓発用ポスターの掲示及び啓発用チラシの窓口設置 ・保健所公用車に啓発用ステッカーを掲示 ・管内市、関係団体、学校等へ啓発用ポスター・チラシを配布 ・対馬振興局Facebookによる啓発を実施 ・「農薬安全対策講習会・農薬管理指導士更新研修会」において啓発用うちわを配布(7/30) ・令和2年度対馬保健所地区献血担当者連絡会議の実施(4/27) |
| 管内市 | <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内にて啓発用ポスターの掲示、啓発用チラシの配布 |
| 薬務行政室 | <ul style="list-style-type: none"> ・市町・各種団体・県政記者室等に対する本運動の周知・協力依頼 ・FMラジオ・県広報テレビ番組による啓発 ・啓発用資材(ポスター、チラシ、うちわ)等の作成及び配布 |
| 長崎県赤十字血液センター | <ul style="list-style-type: none"> ・献血サマーイベント「あつかばってん献血ば！」(7/11、12)(長崎市) ・啓発用資材(ポスター)の掲示、配布 |
| 長崎県赤十字血液センター 佐世保出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ・献血サマーイベント「サマー献血キャンペーン」(7/11、12)(佐世保市) ・啓発用資材(ポスター)の掲示、配布 |

(2) 献血運動推進全国大会

「愛の血液助け合い運動」行事の一環として同運動の全国的な盛り上がりを目指すため、「献血運動推進全国大会」が昭和40年から毎年開催され、令和2年度は北海道札幌市において開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、大会は中止となりました。

献血運動に功労のあった方々に対し、個別に厚生労働大臣表彰状及び感謝状並びに日本赤十字社有功章が贈呈され、本県の多くの方々も受賞されました。(P81参照)

(3) 令和2年度長崎県献血功労者表彰式

献血運動の普及により献血者が増加したことや、献血組織の育成や献血思想の普及に特に顕著な功績があった個人及び団体が多くなったこと等を機会に、これらの人々に感謝状を贈呈し今までの功績をたたえ、また、今後の血液事業推進を期すため「愛の血液助け合い運動」行事の一環として昭和46年から「長崎県献血推進大会」（平成13年度から平成20年度までは「長崎県献血感謝の集い」、平成21年度は長崎県で開催された「献血運動推進全国大会」、令和元年度は「長崎県献血功労者表彰式」として）を開催しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、表彰式は中止となりました。表彰対象である献血功労団体及び協力団体並びに献血回数100回以上の献血協力者の方々に対しては、郵送や個別訪問により知事感謝状を贈呈しました。なお、これまでの長崎県献血推進大会の開催状況については参考資料（P69～74）に掲載しています。

令和2年度献血功劳等表彰者数一覧

| | | | | |
|--------|-----|--|----|----|
| 厚生労働大臣 | 表彰状 | | 団体 | 3 |
| | | | 個人 | — |
| | 感謝状 | | 団体 | 11 |
| | | | 個人 | — |

| | | | | |
|----------|------|----|-------------|----|
| 長崎県知事感謝状 | 献血功劳 | | 団体 | 9 |
| | | | 個人 | — |
| | 献血協力 | 団体 | | 4 |
| | | 個人 | 献血回数 700回以上 | 1 |
| | | | 献血回数 600回以上 | 1 |
| | | | 献血回数 500回以上 | 2 |
| | | | 献血回数 400回以上 | 4 |
| | | | 献血回数 300回以上 | 5 |
| | | | 献血回数 200回以上 | 11 |
| | | | 献血回数 100回以上 | 95 |

| | | | |
|-----------------|-------|----|----|
| 日本赤十字社 | 金色有功章 | 団体 | 3 |
| | | 個人 | — |
| | 銀色有功章 | 団体 | 7 |
| | | 個人 | — |
| 日本赤十字社長崎県支部長感謝状 | | 団体 | 10 |
| | | 個人 | 3 |

(4) 「全国学生クリスマス献血」キャンペーン

献血者が減少する冬場の血液を確保するとともに、若者の献血への理解と活性化を図り、献血の輪を広げることを目的として、昭和63年から全国各地で学生献血ボランティア団体がアイデアをこらした献血キャンペーンを毎年実施しています。

本県においても長崎市と佐世保市でサンタクロースや着ぐるみを着た学生ボランティアが献血を呼びかけました。

「全国学生クリスマス献血」キャンペーン（長崎県内のようす）



(長崎) 12月22～23日



(佐世保) 12月19～20日

(5) 「はたちの献血」キャンペーン

新たに成人式を迎える若者を中心として広く住民各層に献血運動の重要性を認識していただくとともに、400mL献血及び成分献血への理解と協力を求め、冬場における血液不足を解消することを目的として、毎年「はたちの献血」キャンペーンが全国的に実施されています。

令和2年度は令和3年1月1日から2月28日までの2箇月間実施され、本県においては報道機関、ポスター等を通じて広報活動を実施したほか、イベントとしては、県内の献血ルームや大学等のキャンパスなどでキャンペーン献血が実施されました。



令和3年1月25日 長崎県立大学シーボルト校



令和3年1月23日 長崎国際大学

1-3 献血者登録制度

(1) 複数回献血クラブ「ラブラッド」

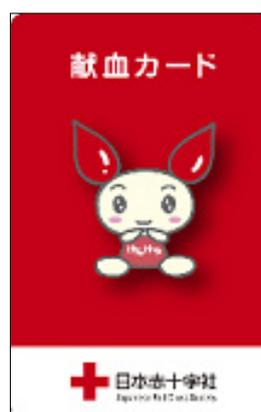
血液製剤を必要とされている患者さんのため、より安全で安定的な献血の受入れを行うことができるよう、また、利用者の方へのサービス向上を目的として、平成30年10月29日より複数回献血クラブの会員サイトが一新されました。

新たな会員サイト「ラブラッド」では、全国すべての献血ルーム（常設施設）で献血の予約できるシステムが導入されています。

採血の時間が最も長い「成分献血」では、受付から問診、事前検査、採血、休憩までを含めると、合計で約90分～120分を要しますが、混雑時にはさらに待ち時間が加わっていたため、この解消が期待されます。また、一部の血液センターで行っていた予約のシステムを全国的に統一するとともに、ご予約のお申し込みに対してリアルタイムに対応できるよう、機能を大幅に改善させています。

そのほかにも、会員サイト上で次回献血可能日を確認できるよう改修されたほか、ご住所の変更も行えるようになっていました。もちろん、これまでどおり会員となった方は、ご自身の血液の検査結果をWeb上で確認することができます。

さらに、全国共通のポイント制度を導入するなど、より一層サービスの充実が図られています。



(2) 献血者登録制度の現況

令和3年3月31日現在の本県における全血献血及び成分献血の登録者数は下の表のとおりであり、全血献血で9,543人、成分献血で10,766人の方に登録いただいています。

なお、今後も安全で良質な血液製剤を安定的に供給する体制を確立させ、また、400mL献血及び成分献血を強力に推進するため、引き続き献血者登録制度事業を推進することとしており、献血者登録について多くの県民の方のご協力をお願いします。

【 献 血 登 録 者 数 (人) 】

| | 施設名 | 型 | A型 | B型 | O型 | AB型 | 合計 |
|----------|--------------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 全血献血登録者数 | 長崎県赤十字血液センター | Rh(+) | 2,171 | 1,596 | 1,142 | 577 | 5,486 |
| | | Rh(-) | 44 | 42 | 23 | 24 | 133 |
| | | 計 | 2,215 | 1,638 | 1,165 | 601 | 5,619 |
| | 佐世保出張所 | Rh(+) | 1,452 | 1,052 | 780 | 392 | 3,676 |
| | | Rh(-) | 109 | 63 | 50 | 26 | 248 |
| | | 計 | 1,561 | 1,115 | 830 | 418 | 3,924 |
| | 小計 | Rh(+) | 3,623 | 2,648 | 1,922 | 969 | 9,162 |
| | | Rh(-) | 153 | 105 | 73 | 50 | 381 |
| | | 計 | 3,776 | 2,753 | 1,995 | 1,019 | 9,543 |
| 成分献血登録者数 | 長崎県赤十字血液センター | Rh(+) | 2,496 | 1,760 | 1,342 | 808 | 6,406 |
| | | Rh(-) | 45 | 31 | 25 | 17 | 118 |
| | | 計 | 2,541 | 1,791 | 1,367 | 825 | 6,524 |
| | 佐世保出張所 | Rh(+) | 1,614 | 1,026 | 928 | 631 | 4,199 |
| | | Rh(-) | 15 | 9 | 7 | 12 | 43 |
| | | 計 | 1,629 | 1,035 | 935 | 643 | 4,242 |
| | 小計 | Rh(+) | 4,110 | 2,786 | 2,270 | 1,439 | 10,605 |
| | | Rh(-) | 60 | 40 | 32 | 29 | 161 |
| | | 計 | 4,170 | 2,826 | 2,302 | 1,468 | 10,766 |
| 合計 | Rh(+) | 7,733 | 5,434 | 4,192 | 2,408 | 19,767 | |
| | Rh(-) | 213 | 145 | 105 | 79 | 542 | |
| | 計 | 7,946 | 5,579 | 4,297 | 2,487 | 20,309 | |

(令和3年3月31日現在)

2 長崎県の献血状況

昭和39年9月1日、佐世保赤十字血液センターにおいて長崎県で最初の献血を受け付けて以来、令和3年3月末までの約50年間に延べ約447万人余りの県民の方々に献血していただいております。

2-1 献血希望者数

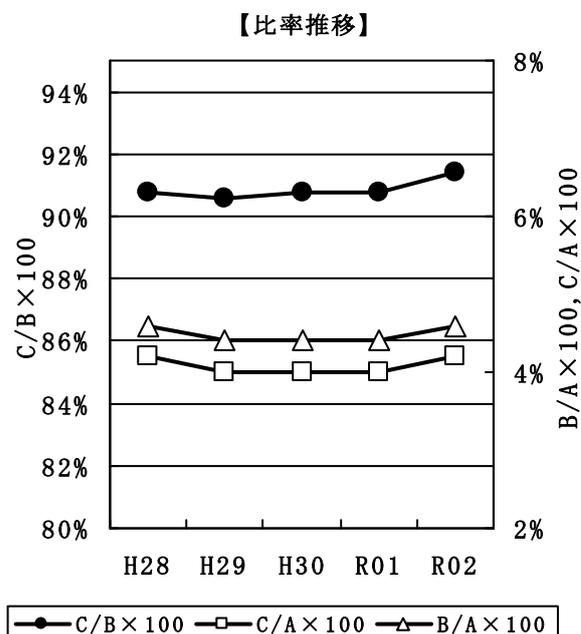
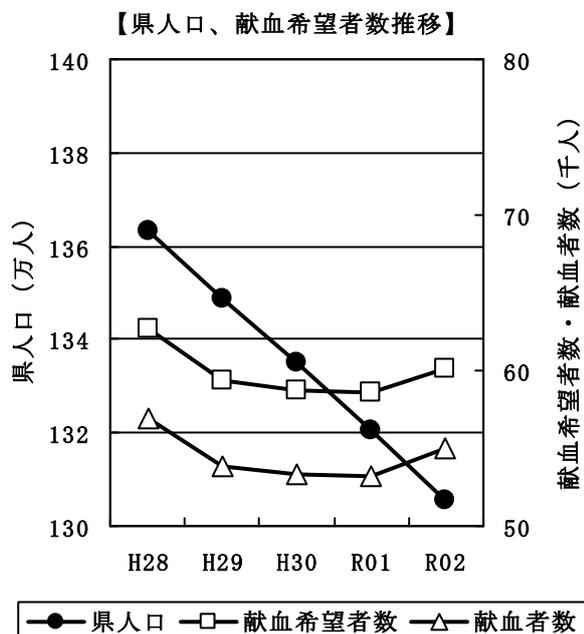
献血ルームや移動献血車などを訪れ、献血の受け付けをした献血希望者の数を下の表に示しています。

令和2年度は県民の4.6%にあたる60,099人の方々に献血を希望していただきました。令和2年度は令和元年度から1,523人増加しておりますが、平成28年度と比較すると2,600人減少しており、近年は減少傾向にあります。また、献血者数についても令和元年度から1,733人増加しておりますが、献血希望者数同様、傾向としては減少してきております。

【 献血希望者数及び献血者数の経年変化 】

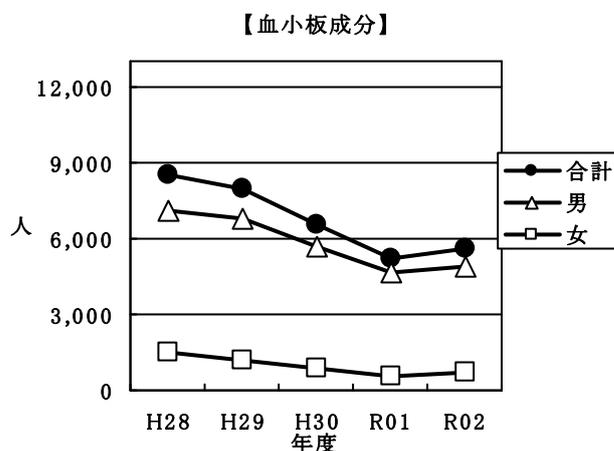
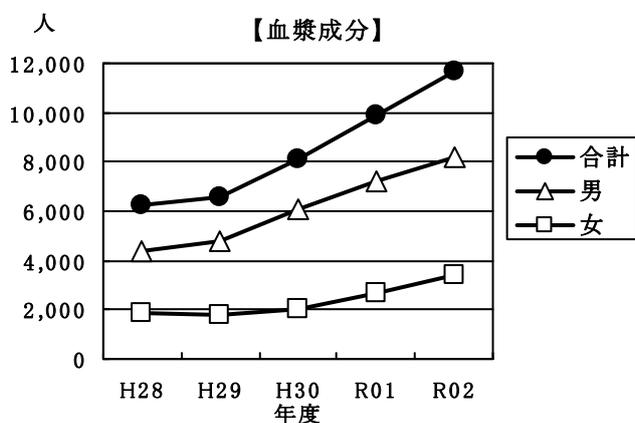
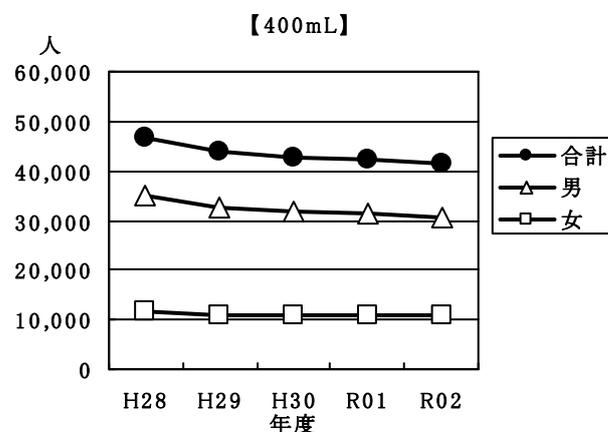
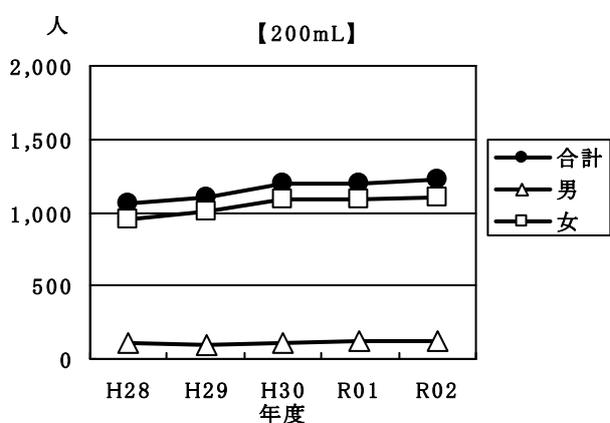
| 年度 | 区分 A | 県人口 | 献血希望者数 B | 献血者数 C | $B/A \times 100$ | $C/A \times 100$ | $C/B \times 100$ |
|--------|---------|-----------|-------------|-----------|------------------|------------------|------------------|
| 令和2年度 | | 1,305,650 | 60,099 | 54,947 | 4.6% | 4.2% | 91.4% |
| 令和元年度 | | 1,320,515 | 58,576 | 53,214 | 4.4% | 4.0% | 90.8% |
| 平成30年度 | | 1,334,860 | 58,731 | 53,349 | 4.4% | 4.0% | 90.8% |
| 平成29年度 | | 1,348,529 | 59,404 | 53,842 | 4.4% | 4.0% | 90.6% |
| 平成28年度 | | 1,363,284 | 62,699 | 56,915 | 4.6% | 4.2% | 90.8% |

(注) 県人口：各年度3月1日現在（県統計課調べ）



【 献血種類別献血希望者数の経年変化 】

| | | 献血希望者数 | 希望献血種類 | | | |
|--------|---|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | | 200mL | 400mL | 血漿成分 | 血小板成分 |
| 令和2年度 | 男 | 43,921 | 127 | 30,732 | 8,205 | 4,857 |
| | 女 | 16,178 | 1,100 | 10,945 | 3,433 | 700 |
| | 計 | 60,099 | 1,227 | 41,677 | 11,638 | 5,557 |
| 令和元年度 | 男 | 43,390 | 118 | 31,431 | 7,179 | 4,662 |
| | 女 | 15,186 | 1,086 | 10,863 | 2,681 | 556 |
| | 計 | 58,576 | 1,204 | 42,294 | 9,860 | 5,218 |
| 平成30年度 | 男 | 43,771 | 112 | 31,957 | 6,041 | 5,661 |
| | 女 | 14,960 | 1,089 | 10,904 | 2,066 | 901 |
| | 計 | 58,731 | 1,201 | 42,861 | 8,107 | 6,562 |
| 平成29年度 | 男 | 44,484 | 100 | 32,790 | 4,788 | 6,806 |
| | 女 | 14,920 | 1,003 | 10,995 | 1,762 | 1,160 |
| | 計 | 59,404 | 1,103 | 43,785 | 6,550 | 7,966 |
| 平成28年度 | 男 | 46,684 | 113 | 35,086 | 4,416 | 7,069 |
| | 女 | 16,015 | 953 | 11,734 | 1,865 | 1,463 |
| | 計 | 62,699 | 1,066 | 46,820 | 6,281 | 8,532 |



2-2 献血不適格者数

献血を希望する人については、採血前に血圧測定、血色素量検査（平成22年度までは血液比重検査又は血色素量検査）、問診等の健康診断を実施し、採血するのに適格かどうかを採血基準に従って判断します。

令和2年度は、献血希望者の8.6%にあたる5,152人の方が採血基準に合致せず献血不適格者になっています。

このうち、血色素量検査で採血基準に不適格となり献血できない人は献血希望者の3.8%にあたる2,270人であり、男女別の血色素不足率は、男性の献血希望者では1.1%にすぎないのに対し、女性の献血希望者では11.0%にものぼり、献血にせつかく応じてくださった方々の善意を十分に活かすことができないという結果が表れています。

このような女性の血色素不足は必ずしも女性の不健康を示すものではなく、男女の血液中の赤血球数の違いによるものです。一般的には健康な人の場合1mm³中の赤血球数は男性で500万個、女性で450万個と言われており、この赤血球数の量的な差異が男女の血色素の差となっているのです。

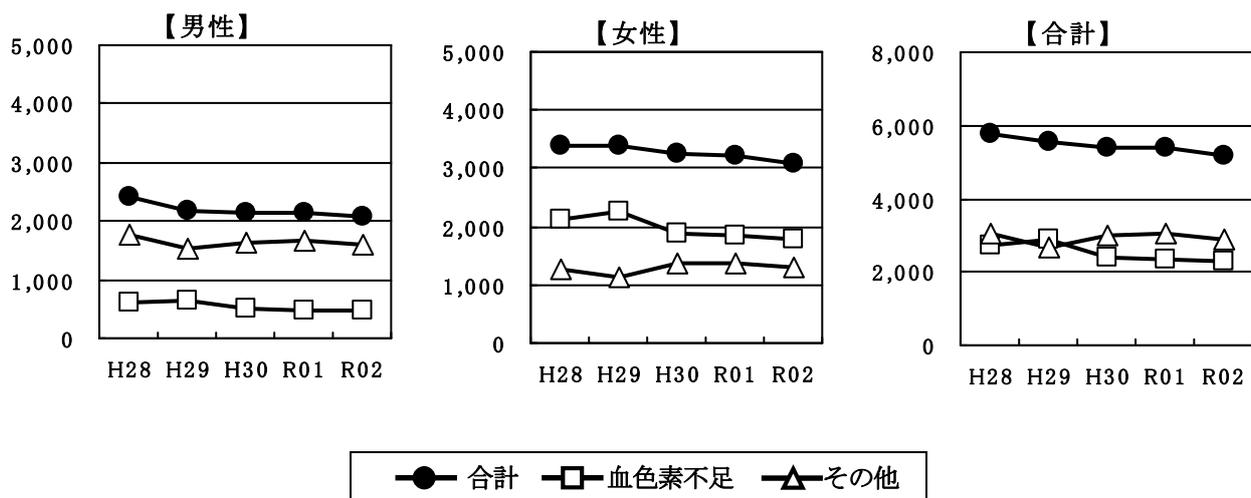
従って、女性の方には多くの患者さんが必要とする成分だけを採取し赤血球などは体内にお返しする成分献血が適していると言われてしています。

なお、日本人の血色素量の標準範囲は、男性13.3～17.4g/dL、女性11.2～14.9g/dLとされています。

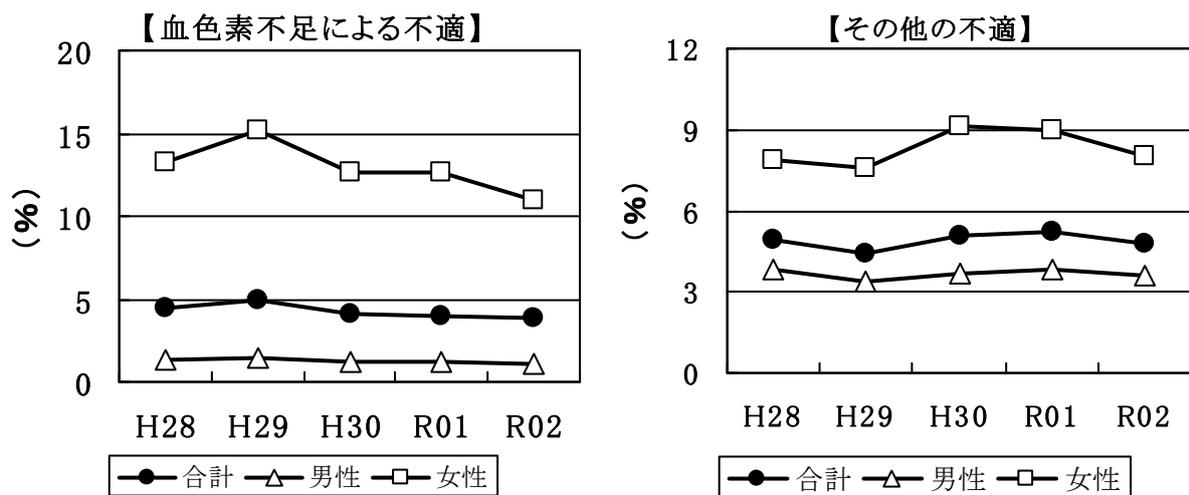
【 献血希望者及び献血不適格者数の経年変化 】

| 年度 | 区分 | 献血希望者数 A | 献血不適格者 | | | | 不合格率 B/A×100 | 血色素不足率 C/A×100 |
|--------|----|-------------|---------|------------|-------|-------|-----------------|-------------------|
| | | | 合計 B | 血色素不足 C | その他 | | | |
| 令和2年度 | 男性 | 43,921 | 2,081 | 491 | 1,590 | 4.7% | 1.1% | |
| | 女性 | 16,178 | 3,071 | 1,779 | 1,292 | 19.0% | 11.0% | |
| | 計 | 60,099 | 5,152 | 2,270 | 2,882 | 8.6% | 3.8% | |
| 令和元年度 | 男性 | 43,390 | 2,155 | 487 | 1,668 | 5.0% | 1.2% | |
| | 女性 | 15,186 | 3,207 | 1,839 | 1,368 | 21.1% | 12.6% | |
| | 計 | 58,576 | 5,362 | 2,326 | 3,036 | 9.2% | 4.0% | |
| 平成30年度 | 男性 | 43,771 | 2,135 | 518 | 1,617 | 4.9% | 1.2% | |
| | 女性 | 14,960 | 3,247 | 1,891 | 1,356 | 21.7% | 12.6% | |
| | 計 | 58,731 | 5,382 | 2,409 | 2,973 | 9.2% | 4.1% | |
| 平成29年度 | 男性 | 44,484 | 2,164 | 645 | 1,519 | 4.9% | 1.4% | |
| | 女性 | 14,920 | 3,398 | 2,262 | 1,136 | 22.8% | 15.2% | |
| | 計 | 59,404 | 5,562 | 2,907 | 2,655 | 9.4% | 4.9% | |
| 平成28年度 | 男性 | 46,684 | 2,398 | 624 | 1,774 | 5.1% | 1.3% | |
| | 女性 | 16,015 | 3,386 | 2,117 | 1,269 | 21.1% | 13.2% | |
| | 男性 | 43,390 | 2,155 | 487 | 1,668 | 5.0% | 1.2% | |

【 献血不適格者数の経年変化 】



【 献血不適合者率の経年変化 】

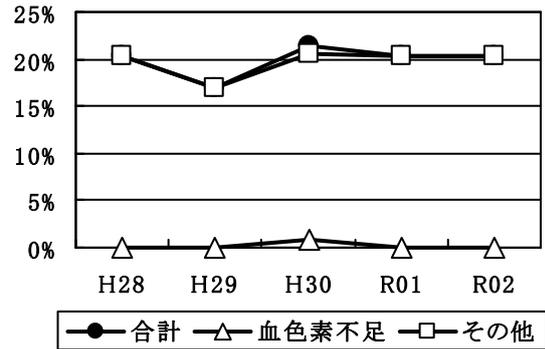
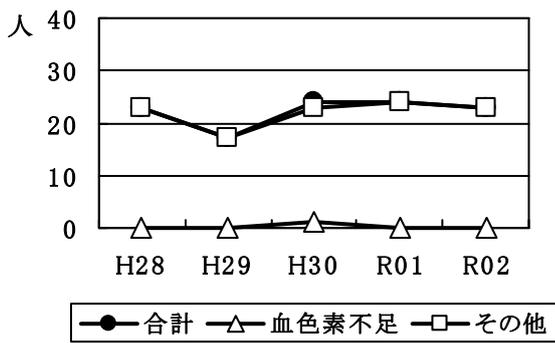


【 献血種類別献血不適格者数の経年変化（県全体） 】

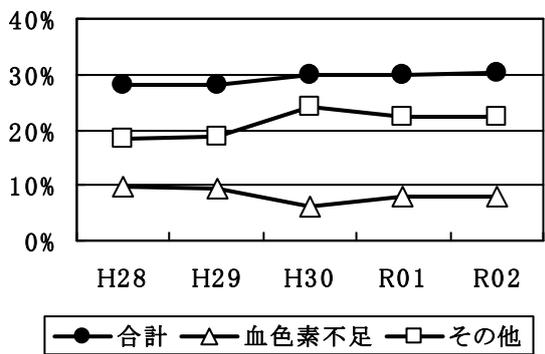
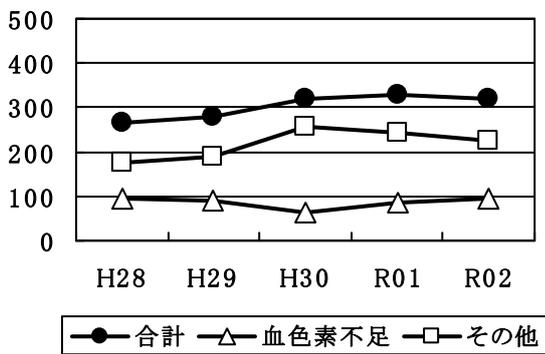
その1

| 年度 | 区分 | 献血希望者 A | 献血不適格者 | | | | | |
|--------|--------|------------|---------|------------|-------|-----------------|-------------------|-------|
| | | | 合計 B | 血色素不足 C | その他 | 不適格率 B/A×100 | 血色素不足率 C/A×100 | |
| 2020 | 令和2年度 | 男性 | 127 | 23 | 0 | 23 | 20.3% | 0% |
| | | 女性 | 1,100 | 320 | 93 | 227 | 30.2% | 7.9% |
| | | 計 | 1,227 | 343 | 93 | 250 | 28.0% | 7.6% |
| | 令和元年度 | 男性 | 118 | 24 | 0 | 24 | 20.3% | 0% |
| | | 女性 | 1,086 | 328 | 86 | 242 | 30.2% | 7.9% |
| | | 計 | 1,204 | 352 | 86 | 266 | 29.2% | 7.1% |
| | 平成30年度 | 男性 | 112 | 24 | 1 | 23 | 21.4% | 0.9% |
| | | 女性 | 1,069 | 321 | 64 | 257 | 30.0% | 6.0% |
| | | 計 | 1,201 | 345 | 65 | 280 | 28.7% | 5.4% |
| | 平成29年度 | 男性 | 100 | 17 | 0 | 17 | 17.0% | 0.0% |
| | | 女性 | 1,003 | 281 | 92 | 189 | 28.0% | 9.2% |
| | | 計 | 1,103 | 298 | 92 | 206 | 27.0% | 8.3% |
| 平成28年度 | 男性 | 113 | 23 | 0 | 23 | 20.3% | 0.0% | |
| | 女性 | 953 | 268 | 93 | 175 | 28.1% | 9.8% | |
| | 計 | 1,066 | 291 | 93 | 198 | 27.3% | 8.7% | |
| 4020 | 令和2年度 | 男性 | 30,732 | 1,755 | 427 | 1,328 | 5.7% | 1.4% |
| | | 女性 | 10,945 | 2,412 | 1,506 | 906 | 22.0% | 13.8% |
| | | 計 | 41,677 | 4,167 | 1,933 | 2,234 | 10.0% | 4.6% |
| | 令和元年度 | 男性 | 31,431 | 1,847 | 435 | 1,412 | 5.9% | 1.4% |
| | | 女性 | 10,863 | 2,607 | 1,646 | 961 | 24.0% | 15.2% |
| | | 計 | 42,294 | 4,454 | 2,081 | 2,373 | 10.5% | 4.9% |
| | 平成30年度 | 男性 | 31,957 | 1,751 | 447 | 1,304 | 5.5% | 1.4% |
| | | 女性 | 10,904 | 2,672 | 1,704 | 968 | 24.5% | 15.6% |
| | | 計 | 42,861 | 4,423 | 2,151 | 2,272 | 10.3% | 5.0% |
| | 平成29年度 | 男性 | 32,790 | 1,866 | 573 | 1,293 | 5.7% | 1.7% |
| | | 女性 | 10,995 | 2,835 | 2,017 | 818 | 25.8% | 18.3% |
| | | 計 | 43,785 | 4,701 | 2,590 | 2,111 | 10.7% | 5.9% |
| 平成28年度 | 男性 | 35,086 | 2,052 | 540 | 1,512 | 5.9% | 1.5% | |
| | 女性 | 11,734 | 2,766 | 1,807 | 959 | 23.6% | 15.4% | |
| | 計 | 46,820 | 4,818 | 2,347 | 2,471 | 10.3% | 5.0% | |

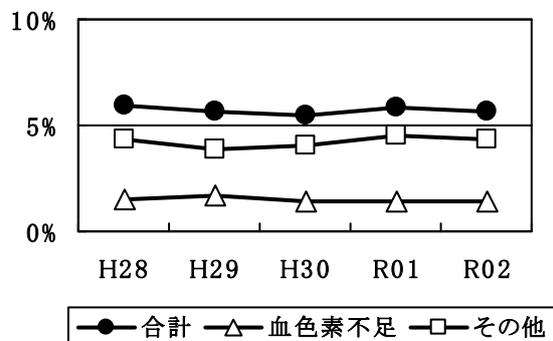
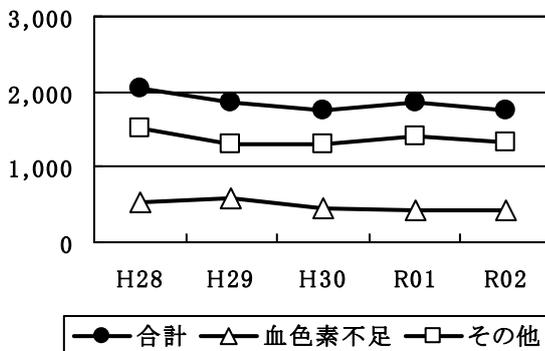
【 男性の200mL献血不適格者数及び不適格率の経年変化 】



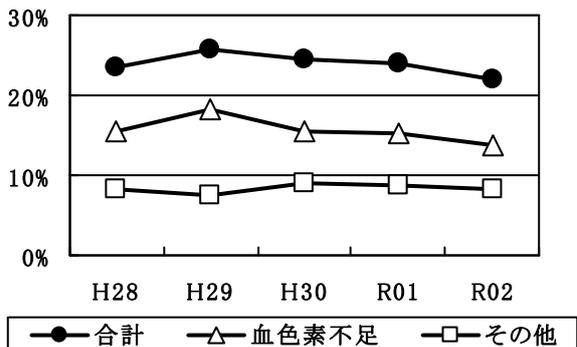
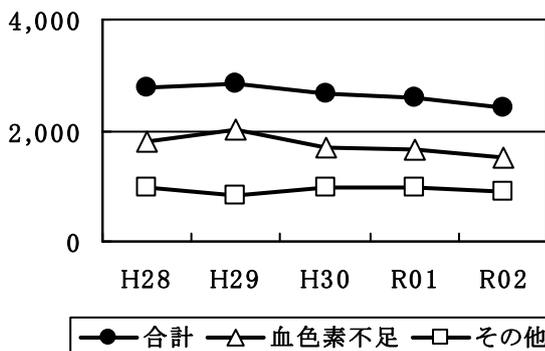
【 女性の200mL献血不適格者数及び不適格率の経年変化 】



【 男性の400mL献血不適格者数及び不適格率の経年変化 】



【 女性の400mL献血不適格者数及び不適格率の経年変化 】

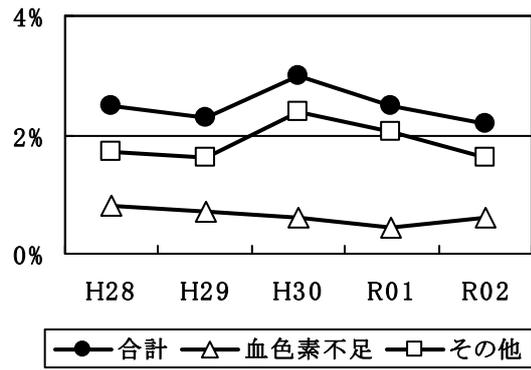
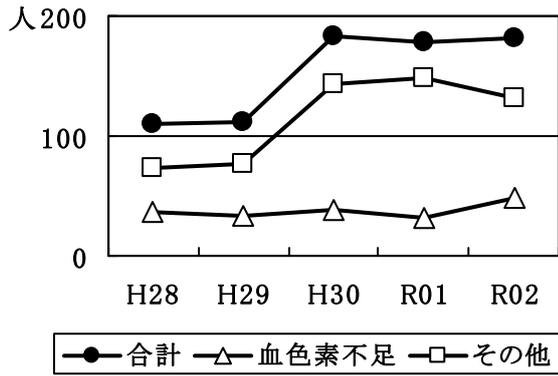


【 献血種類別献血不適格者数の経年変化（県全体） 】

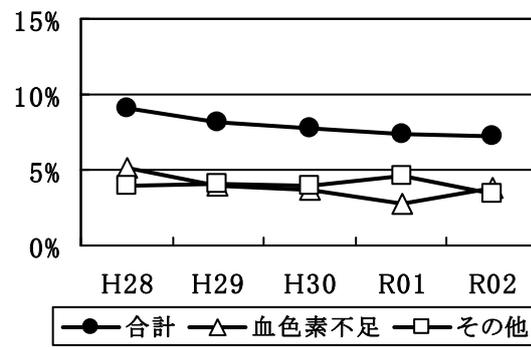
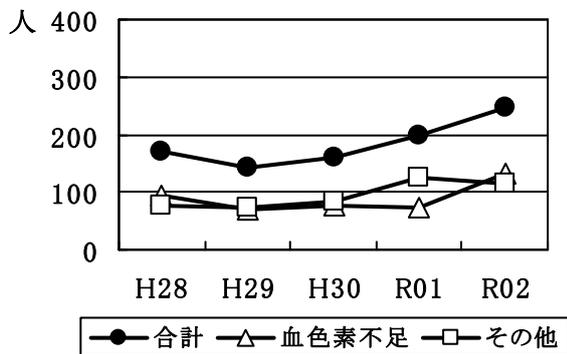
その2

| 年度 | 区分 | 献血希望者 A | 献血不適格者 | | | | | |
|--------|--------|------------|---------|------------|-----|-----------------|-------------------|------|
| | | | 合計 B | 血色素不足 C | その他 | 不適格率 B/A×100 | 血色素不足率 C/A×100 | |
| 血漿成分 | 令和2年度 | 男性 | 8,205 | 181 | 49 | 132 | 2.2% | 0.6% |
| | | 女性 | 3,433 | 246 | 132 | 114 | 7.2% | 3.8% |
| | | 計 | 11,638 | 427 | 181 | 246 | 3.7% | 1.6% |
| | 令和元年度 | 男性 | 7,179 | 179 | 31 | 148 | 2.5% | 0.4% |
| | | 女性 | 2,681 | 199 | 74 | 125 | 7.4% | 2.8% |
| | | 計 | 9,860 | 378 | 105 | 273 | 3.8% | 1.1% |
| | 平成30年度 | 男性 | 6,041 | 183 | 39 | 144 | 3.0% | 0.6% |
| | | 女性 | 2,066 | 160 | 77 | 83 | 7.7% | 3.7% |
| | | 計 | 8,107 | 343 | 116 | 227 | 4.2% | 1.4% |
| | 平成29年度 | 男性 | 4,788 | 111 | 34 | 77 | 2.3% | 0.7% |
| | | 女性 | 1,762 | 144 | 71 | 73 | 8.2% | 4.0% |
| | | 計 | 6,550 | 255 | 105 | 150 | 3.9% | 1.6% |
| 平成28年度 | 男性 | 4,416 | 110 | 36 | 74 | 2.5% | 0.8% | |
| | 女性 | 1,865 | 170 | 95 | 75 | 9.1% | 5.1% | |
| | 計 | 6,281 | 280 | 131 | 149 | 4.5% | 2.1% | |
| 血小板成分 | 令和2年度 | 男性 | 4,857 | 122 | 15 | 107 | 2.5% | 0.3% |
| | | 女性 | 700 | 93 | 48 | 45 | 13.2% | 6.9% |
| | | 計 | 5,557 | 215 | 63 | 152 | 3.9% | 1.1% |
| | 令和元年度 | 男性 | 4,662 | 105 | 21 | 84 | 2.3% | 0.5% |
| | | 女性 | 556 | 73 | 33 | 40 | 13.1% | 5.9% |
| | | 計 | 5,218 | 178 | 54 | 124 | 3.4% | 1.0% |
| | 平成30年度 | 男性 | 5,661 | 177 | 31 | 146 | 3.1% | 0.5% |
| | | 女性 | 901 | 94 | 46 | 48 | 10.4% | 5.1% |
| | | 計 | 6,562 | 271 | 77 | 194 | 4.1% | 1.2% |
| | 平成29年度 | 男性 | 6,806 | 170 | 38 | 132 | 2.5% | 0.6% |
| | | 女性 | 1,160 | 138 | 82 | 56 | 11.9% | 7.1% |
| | | 計 | 7,766 | 308 | 120 | 188 | 4.0% | 1.6% |
| 平成28年度 | 男性 | 7,069 | 213 | 48 | 165 | 3.0% | 0.7% | |
| | 女性 | 1,463 | 182 | 122 | 60 | 12.4% | 8.3% | |
| | 計 | 8,532 | 395 | 170 | 225 | 4.6% | 2.0% | |

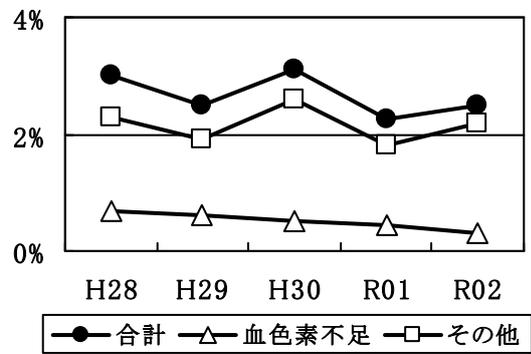
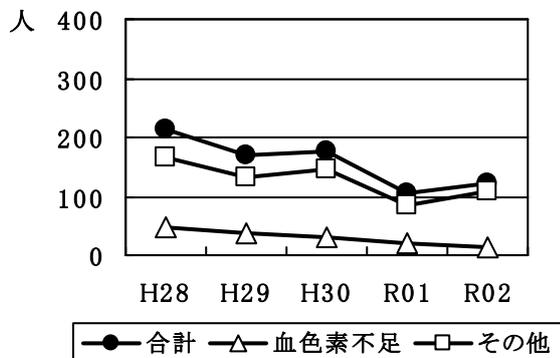
【 男性の血漿成分献血不適格者数及び不適格率の経年変化 】



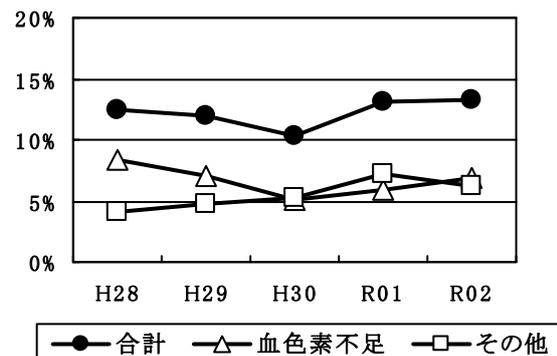
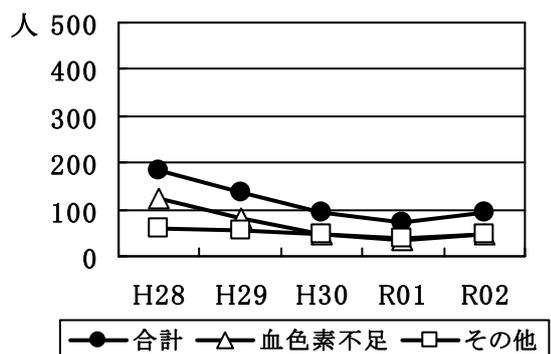
【 女性の血漿成分献血不適格者数及び不適格率の経年変化 】



【 男性の血小板成分献血不適格者数及び不適格率の経年変化 】



【 女性の血小板成分献血不適格者数及び不適格率の経年変化 】



2-3 献血者数

(1) 献血者の年度別推移

令和2年度は県人口の4.2%にあたる54,947人の方々に、合計21,545リットルの献血していただきました。献血者数は昭和60年度には約16万3千人の方々に献血していただいたのをピークに年々減少し、近年は6万人を下回っている状況です。献血量は平成3年度をピークに年々減少し、一時増加傾向に転じましたが、平成24年度以降また減少傾向になっています。

献血の種類別構成では、200mL献血は400mL献血・成分献血が導入された昭和61年以降年々減少する一方、400mL献血は平成8年度まで増加傾向にありましたが平成29年度以降は3万人台となっています。血漿成分献血は平成7年度以降1万人台で、また、平成18年度以降は5～7千人台前後で推移していましたが、令和2年度は1万1千人台と増加傾向です。血小板成分献血は平成20年度からは1万人台を推移していましたが、平成27年度以降減少傾向に転じ、令和2年度は5千人台まで減少しています。

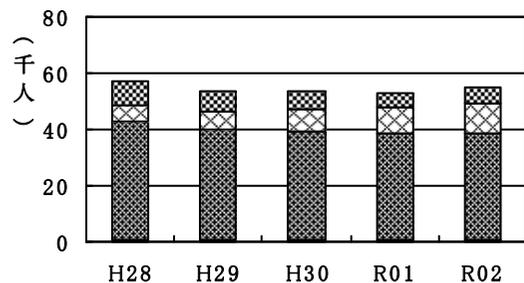
【 献血者数及び献血量の推移 】

| 年度 | 県人口 (人) | 献血者数 (人) | | | | | 献血量 (L) | 対前年度比 (%) | | 所属別献血者数 (人) | |
|-------|------------|----------|---------|--------|-------|-------|------------|-----------|-----|-------------|--------|
| | | 合計 | 200mL | 400mL | 血漿成分 | 血小板成分 | | 献血者数 | 献血量 | 長崎県センター | 佐世保出張所 |
| S. 39 | 1,675,170 | 4,072 | 4,072 | | | | 814 | | | | 4,072 |
| S. 40 | 1,641,245 | 8,724 | 8,724 | | | | 1,745 | 214 | 214 | | 8,724 |
| S. 41 | 1,637,292 | 16,410 | 16,410 | | | | 3,282 | 188 | 188 | | 16,410 |
| S. 42 | 1,632,039 | 30,612 | 30,612 | | | | 6,122 | 187 | 187 | | 30,612 |
| S. 43 | 1,616,351 | 32,604 | 32,604 | | | | 6,521 | 107 | 107 | | 32,604 |
| S. 44 | 1,601,266 | 36,195 | 36,195 | | | | 7,239 | 111 | 111 | | 36,195 |
| S. 45 | 1,570,245 | 36,852 | 36,852 | | | | 7,370 | 102 | 102 | | 36,852 |
| S. 46 | 1,559,178 | 41,739 | 41,739 | | | | 8,348 | 113 | 113 | 20,118 | 21,621 |
| S. 47 | 1,553,509 | 44,285 | 44,285 | | | | 8,857 | 106 | 106 | 22,095 | 22,190 |
| S. 48 | 1,547,541 | 51,024 | 51,024 | | | | 10,205 | 115 | 115 | 25,191 | 25,833 |
| S. 49 | 1,551,682 | 55,370 | 55,370 | | | | 11,074 | 109 | 109 | 27,749 | 27,621 |
| S. 50 | 1,571,919 | 53,239 | 53,239 | | | | 10,648 | 96 | 96 | 28,421 | 24,818 |
| S. 51 | 1,576,857 | 59,355 | 59,355 | | | | 11,871 | 112 | 112 | 34,519 | 24,836 |
| S. 52 | 1,584,201 | 73,361 | 73,361 | | | | 14,672 | 124 | 124 | 44,198 | 29,163 |
| S. 53 | 1,588,723 | 86,678 | 86,678 | | | | 17,336 | 118 | 118 | 52,085 | 34,593 |
| S. 54 | 1,590,292 | 95,494 | 95,494 | | | | 19,099 | 110 | 110 | 55,173 | 40,321 |
| S. 55 | 1,590,554 | 105,967 | 105,967 | | | | 21,193 | 111 | 111 | 63,609 | 42,358 |
| S. 56 | 1,593,140 | 127,959 | 127,959 | | | | 25,592 | 121 | 121 | 77,658 | 50,301 |
| S. 57 | 1,593,857 | 140,693 | 140,693 | | | | 28,139 | 110 | 110 | 87,448 | 53,245 |
| S. 58 | 1,594,009 | 149,297 | 149,297 | | | | 29,859 | 106 | 106 | 91,856 | 57,441 |
| S. 59 | 1,593,820 | 158,365 | 158,365 | | | | 31,673 | 106 | 106 | 97,910 | 60,455 |
| S. 60 | 1,594,854 | 163,051 | 163,051 | | | | 32,610 | 103 | 103 | 104,118 | 58,933 |
| S. 61 | 1,590,948 | 146,771 | 124,973 | 21,022 | 29 | 747 | 33,584 | 90 | 103 | 93,107 | 53,664 |
| S. 62 | 1,586,191 | 136,566 | 103,753 | 31,198 | 63 | 1,552 | 33,525 | 93 | 100 | 86,533 | 50,033 |
| S. 63 | 1,582,270 | 134,078 | 98,314 | 33,679 | 205 | 1,880 | 33,547 | 98 | 100 | 85,293 | 48,785 |
| H. 1 | 1,574,269 | 127,623 | 88,677 | 35,173 | 1,558 | 2,215 | 32,830 | 95 | 98 | 80,584 | 47,039 |

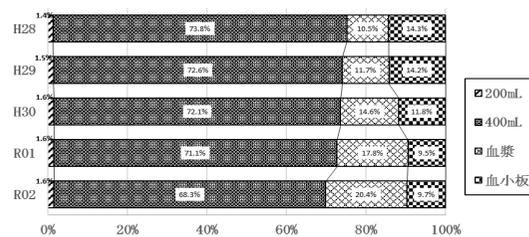
| 年度 | 県人口 (人) | 献血者数(人) | | | | | 献血量 (L) | 対前年度比(%) | | 所属別献血者数(人) | |
|-------|------------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|------------|----------|-----|------------|-----------|
| | | 合計 | 200mL | 400mL | 血漿成分 | 血小板成分 | | 献血者数 | 献血量 | 長崎県センター | 佐世保出張所 |
| H. 2 | 1,563,606 | 123,743 | 75,531 | 34,885 | 11,234 | 2,093 | 34,282 | 97 | 104 | 77,540 | 46,203 |
| H. 3 | 1,557,074 | 128,806 | 64,622 | 37,116 | 24,603 | 2,465 | 38,741 | 104 | 113 | 75,904 | 52,902 |
| H. 4 | 1,552,534 | 118,036 | 51,447 | 39,850 | 24,035 | 2,704 | 37,444 | 92 | 97 | 71,748 | 46,288 |
| H. 5 | 1,550,556 | 105,405 | 37,611 | 41,445 | 22,306 | 4,043 | 35,166 | 89 | 94 | 64,034 | 41,371 |
| H. 6 | 1,548,432 | 97,207 | 25,140 | 45,204 | 21,991 | 4,872 | 34,813 | 92 | 99 | 60,366 | 36,841 |
| H. 7 | 1,545,309 | 98,835 | 25,629 | 50,189 | 16,144 | 6,873 | 34,355 | 102 | 99 | 59,790 | 39,045 |
| H. 8 | 1,541,732 | 98,817 | 24,840 | 50,195 | 15,216 | 8,566 | 34,015 | 100 | 99 | 62,934 | 35,883 |
| H. 9 | 1,537,065 | 99,821 | 24,483 | 49,883 | 15,558 | 9,897 | 34,279 | 101 | 101 | 62,237 | 37,584 |
| H. 10 | 1,531,235 | 91,213 | 18,124 | 46,997 | 16,944 | 9,148 | 32,297 | 91 | 94 | 56,333 | 34,880 |
| H. 11 | 1,526,394 | 84,234 | 15,251 | 44,934 | 15,320 | 8,729 | 29,504 | 92 | 91 | 52,799 | 31,435 |
| H. 12 | 1,516,099 | 75,582 | 10,853 | 41,846 | 15,299 | 7,584 | 27,111 | 90 | 92 | 47,365 | 28,217 |
| H. 13 | 1,511,135 | 70,507 | 8,376 | 38,441 | 15,139 | 8,551 | 25,449 | 93 | 94 | 44,445 | 26,062 |
| H. 14 | 1,504,915 | 68,751 | 9,350 | 37,810 | 13,267 | 8,324 | 24,223 | 97 | 95 | 42,253 | 26,498 |
| H. 15 | 1,499,303 | 68,498 | 10,201 | 37,746 | 12,010 | 8,541 | 24,006 | 100 | 99 | 39,876 | 28,622 |
| H. 16 | 1,491,243 | 66,241 | 11,026 | 35,654 | 11,314 | 8,247 | 22,790 | 97 | 95 | 38,058 | 28,183 |
| H. 17 | 1,480,091 | 64,974 | 10,049 | 36,873 | 10,246 | 7,806 | 22,611 | 98 | 99 | 37,620 | 27,354 |
| H. 18 | 1,463,604 | 58,080 | 6,521 | 36,758 | 5,744 | 9,057 | 22,215 | 89 | 98 | 32,946 | 25,134 |
| H. 19 | 1,450,789 | 58,291 | 3,882 | 39,163 | 5,428 | 9,818 | 22,811 | 100 | 103 | 33,110 | 25,181 |
| H. 20 | 1,439,172 | 61,616 | 4,511 | 39,627 | 6,170 | 11,308 | 24,053 | 106 | 105 | 36,517 | 25,099 |
| H. 21 | 1,430,062 | 65,511 | 3,653 | 43,539 | 7,675 | 10,644 | 25,858 | 106 | 108 | 39,519 | 25,992 |
| H. 22 | 1,420,122 | 67,129 | 3,297 | 46,867 | 5,666 | 11,299 | 26,475 | 102 | 102 | 40,658 | 26,471 |
| H. 23 | 1,414,835 | 68,387 | 2,624 | 48,282 | 6,065 | 11,416 | 27,133 | 102 | 102 | 40,827 | 27,560 |
| H. 24 | 1,404,340 | 66,204 | 2,432 | 46,417 | 5,864 | 11,491 | 26,288 | 97 | 97 | 36,117 | 30,087 |
| H. 25 | 1,393,159 | 63,603 | 2,136 | 44,095 | 6,726 | 10,646 | 25,400 | 96 | 97 | 35,765 | 27,838 |
| H. 26 | 1,381,714 | 61,626 | 1,302 | 42,965 | 6,198 | 11,161 | 24,885 | 97 | 98 | 34,855 | 26,771 |
| H. 27 | 1,372,898 | 57,576 | 850 | 42,376 | 5,711 | 8,639 | 23,317 | 93 | 94 | 33,526 | 24,050 |
| H. 28 | 1,363,284 | 56,915 | 775 | 42,002 | 6,001 | 8,137 | 23,091 | 99 | 99 | 33,159 | 23,756 |
| H. 29 | 1,348,529 | 53,842 | 805 | 39,084 | 6,295 | 7,658 | 21,879 | 90 | 95 | 31,581 | 22,261 |
| H. 30 | 1,334,860 | 53,349 | 856 | 38,438 | 7,764 | 6,291 | 21,789 | 99 | 100 | 31,266 | 22,038 |
| R. 01 | 1,320,515 | 53,214 | 852 | 37,840 | 9,482 | 5,040 | 20,775 | 100 | 95 | 31,075 | 22,139 |
| R. 02 | 1,305,650 | 54,947 | 884 | 37,510 | 11,211 | 5,342 | 21,545 | 103 | 104 | 32,887 | 22,060 |
| 計 | — | 4,477,344 | 2,444,976 | 1,415,103 | 364,481 | 252,784 | 1,296,356 | — | — | 2,594,775 | 1,882,524 |

(注) 県人口：各年度3月1日現在

【 献血者数の経年変化 】



【 献血の種類別構成比率の経年変化 】



【 献血の種類別構成比(%)の推移 】

| | 200mL | 400mL | 血漿 | 血小板 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| R02 | 1.6% | 68.3% | 20.4% | 9.7% |
| R01 | 1.6% | 71.1% | 17.8% | 9.5% |
| H30 | 1.6% | 72.1% | 14.6% | 11.8% |
| H29 | 1.5% | 72.6% | 11.7% | 14.2% |
| H28 | 1.4% | 73.8% | 10.5% | 14.3% |

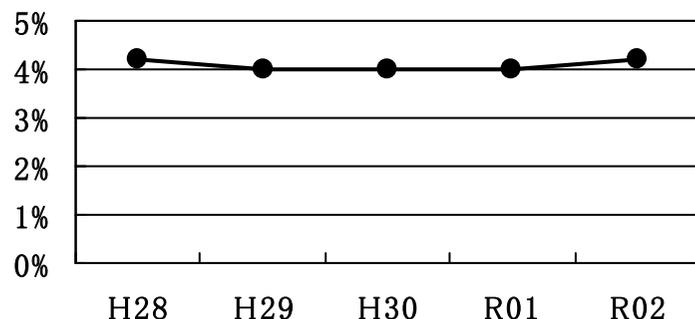
(2) 年度別献血目標、献血者数及び達成率

県においては県献血推進協議会にて協議し、毎年度ごとの献血目標を策定し、県下各市町及び血液センターと協力して献血者の安定確保に努めています。

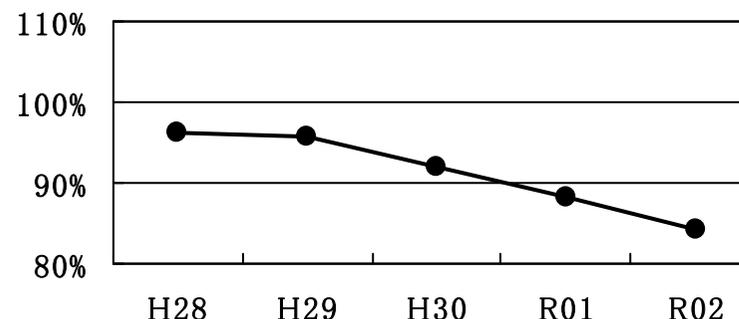
令和2年度は、献血目標を県全体で献血者数57,388人、献血量25,575リットルと策定して献血への協力をお願いしてきました。令和2年度は献血量21,545リットル、目標達成率84.2%となり、昨年度に続き目標を達成することができませんでした。減少した要因としては、献血可能人口の減少、特に若年層の献血者が減少していること、天候不良や等による献血バスの運行中止や、新型コロナウイルス感染症の影響による献血バス受け入れ施設の減少などが考えられます。

令和2年度の献血実績を前年度と比較すると、200mL献血は32人増加、400mL献血は330人減少、血漿成分献血は1,729人増加、血小板成分献血は302人増加しています。

【 献血率の経年変化 】



【 達成率（献血量）の経年変化 】



| 区分 年度 | 献血目標 | | | | | | 献血実績 | | | | | | 400比 (%) | 成分比 (%) | 献血量 達成率 (%) |
|----------|---------|--------|--------|-------|--------|------------|---------|--------|--------|-------|--------|------------|-------------|------------|-------------------|
| | 献血者数(人) | | | | | 献血量 (L) | 献血者数(人) | | | | | 献血量 (L) | | | |
| | 200mL | 400mL | 血漿 | 血小板 | 計 | | 200mL | 400mL | 血漿 | 血小板 | 計 | | | | |
| 令和2年度 | 662 | 38,313 | 12,175 | 6,238 | 57,388 | 25,575 | 884 | 37,510 | 11,211 | 5,342 | 54,947 | 21,545.4 | 68.3% | 30.1% | 84.2% |
| 長崎 | 208 | 12,056 | 7,610 | 3,899 | 23,773 | 11,188 | 331 | 10,568 | 5,178 | 2,866 | 18,943 | 7,104.4 | 55.8% | 42.5% | 63.5% |
| 佐世保 | 125 | 7,232 | 4,565 | 2,339 | 14,261 | 6,711 | 350 | 7,589 | 6,033 | 2,476 | 16,448 | 6,659.2 | 46.1% | 51.7% | 99.2% |
| 西彼 | 50 | 2,913 | | | 2,963 | 1,175 | 35 | 2,883 | | | 2,918 | 1,160.2 | 98.8% | | 98.7% |
| 県央 | 139 | 8,007 | | | 8,146 | 3,231 | 105 | 9,232 | | | 9,337 | 3,713.8 | 98.9% | | 114.9% |
| 県南 | 60 | 3,484 | | | 3,544 | 1,406 | 31 | 3,800 | | | 3,831 | 1,526.2 | 99.2% | | 108.5% |
| 県北 | 30 | 1,741 | | | 1,771 | 703 | 13 | 879 | | | 892 | 354.2 | 98.5% | | 50.4% |
| 五島 | 16 | 905 | | | 921 | 365 | 2 | 619 | | | 621 | 248.0 | 99.7% | | 67.9% |
| 上五島 | 9 | 523 | | | 532 | 211 | 2 | 373 | | | 375 | 149.6 | 99.5% | | 70.9% |
| 壱岐 | 11 | 663 | | | 674 | 267 | 11 | 657 | | | 668 | 265.0 | 98.4% | | 99.3% |
| 対馬 | 14 | 789 | | | 803 | 318 | 4 | 910 | | | 914 | 364.8 | 99.6% | | 114.7% |
| その他 | 0 | 0 | | | 0 | | 0 | 0 | | | 0 | 0.0 | 0.0% | | |
| H31 | 796 | 40,125 | 10,745 | 5,724 | 57,390 | 23,543 | 852 | 37,840 | 9,482 | 5,040 | 53,214 | 20,775.1 | 71.1% | 0.2729 | 88.2% |
| H30 | 590 | 40,720 | 8,945 | 7,450 | 57,705 | 23,680 | 856 | 38,438 | 7,764 | 6,291 | 53,349 | 21,790 | 72.1% | 26.3% | 92.0% |
| H29 | 780 | 40,790 | 6,440 | 8,180 | 56,190 | 22,835 | 805 | 39,084 | 6,285 | 7,658 | 53,832 | 21,879 | 72.6% | 25.9% | 95.8% |
| H28 | 680 | 42,120 | 6,920 | 9,380 | 59,100 | 24,058 | 775 | 42,002 | 6,001 | 8,137 | 56,915 | 23,091 | 73.8% | 24.8% | 96.0% |

(注1) 献血率：各年度3月1日現在人口で算出

(注2) 献血量は換算量とする。

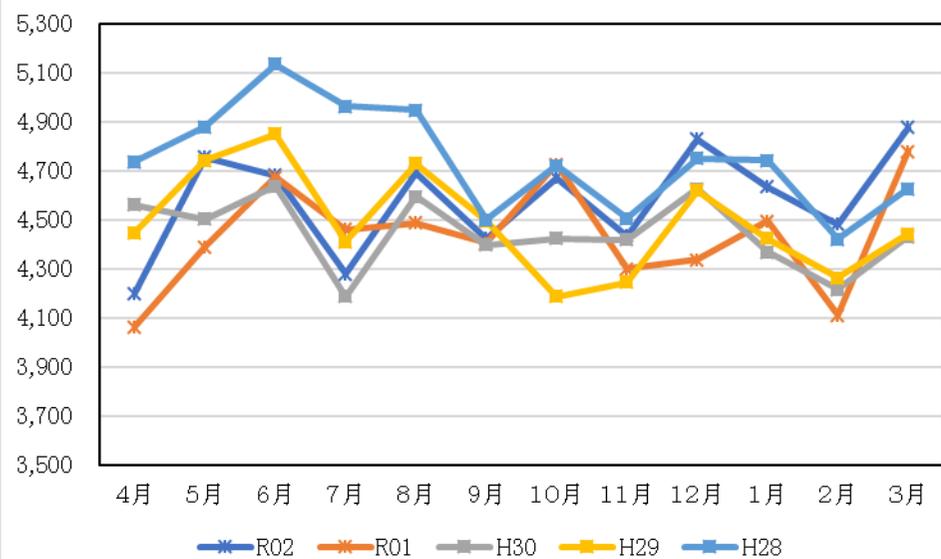
(3) 献血者の月別推移

献血者数の月別推移をみると、暑い夏や寒い冬の時期、3～4月の人事異動時期など季節的に献血者が減少しやすい時期があり、その一方で血液の需要は月別によって大きな差はないため、安定した血液の確保に努める必要があります。そのため、毎年7月に「愛の血液助け合い運動」を実施し、冬期には「クリスマス献血」キャンペーン（12月）や「はたちの献血」キャンペーン（1～2月）を実施するなど、年間を通じて恒常的な献血者の確保に努めております。

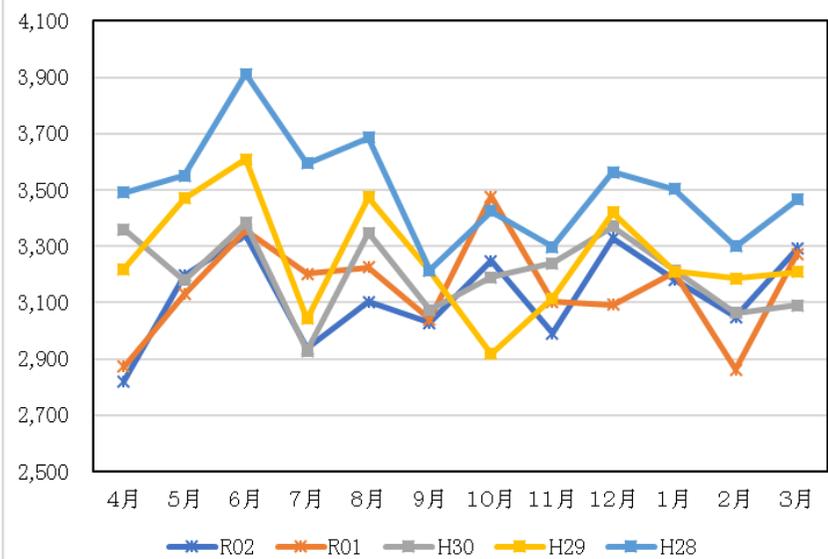
【 月別献血者数の経年変化 】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 月平均 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 令和2年度 | 4,199 | 4,755 | 4,681 | 4,278 | 4,692 | 4,423 | 4,671 | 4,433 | 4,828 | 4,632 | 4,480 | 4,875 | 54,947 | 4,579 |
| 200mL | 59 | 67 | 74 | 66 | 69 | 100 | 80 | 63 | 67 | 63 | 74 | 102 | 884 | 74 |
| 400mL | 2,820 | 3,195 | 3,340 | 2,936 | 3,103 | 3,028 | 3,247 | 2,990 | 3,329 | 3,181 | 3,049 | 3,292 | 37,510 | 3,126 |
| 血漿 | 905 | 1066 | 853 | 890 | 1113 | 904 | 972 | 918 | 891 | 866 | 889 | 944 | 11,211 | 934 |
| 血小板 | 415 | 427 | 414 | 386 | 407 | 391 | 372 | 462 | 541 | 522 | 468 | 537 | 5,342 | 445 |
| 令和元年度 | 4,062 | 4,389 | 4,673 | 4,459 | 4,487 | 4,404 | 4,724 | 4,298 | 4,337 | 4,494 | 4,110 | 4,777 | 53,214 | 4,435 |
| 200mL | 67 | 75 | 83 | 69 | 72 | 90 | 83 | 68 | 56 | 59 | 54 | 76 | 852 | 71 |
| 400mL | 2,872 | 3,130 | 3,358 | 3,202 | 3,224 | 3,041 | 3,477 | 3,103 | 3,092 | 3,207 | 2,861 | 3,273 | 37,840 | 3,153 |
| 血漿 | 684 | 760 | 780 | 796 | 795 | 854 | 756 | 743 | 774 | 772 | 756 | 1012 | 9,482 | 790 |
| 血小板 | 439 | 424 | 452 | 392 | 396 | 419 | 408 | 384 | 415 | 456 | 439 | 416 | 5,040 | 420 |
| 平成30年度 | 4,560 | 4,501 | 4,636 | 4,186 | 4,593 | 4,395 | 4,423 | 4,417 | 4,624 | 4,368 | 4,215 | 4,431 | 53,349 | 4,446 |
| 200mL | 64 | 77 | 62 | 81 | 63 | 75 | 84 | 67 | 71 | 62 | 74 | 76 | 856 | 71 |
| 400mL | 3,359 | 3,180 | 3,383 | 2,929 | 3,347 | 3,074 | 3,189 | 3,240 | 3,370 | 3,215 | 3,062 | 3,090 | 38,438 | 3,203 |
| 血漿 | 504 | 605 | 631 | 642 | 661 | 716 | 667 | 594 | 664 | 626 | 622 | 832 | 7,764 | 647 |
| 血小板 | 633 | 639 | 560 | 534 | 522 | 530 | 483 | 516 | 519 | 465 | 457 | 433 | 6,291 | 524 |
| 平成29年度 | 4,447 | 4,741 | 4,848 | 4,410 | 4,729 | 4,493 | 4,187 | 4,244 | 4,618 | 4,423 | 4,261 | 4,441 | 53,842 | 4,487 |
| 200mL | 66 | 78 | 69 | 70 | 63 | 65 | 70 | 57 | 63 | 70 | 61 | 73 | 805 | 67 |
| 400mL | 3,219 | 3,469 | 3,609 | 3,043 | 3,474 | 3,212 | 2,917 | 3,115 | 3,420 | 3,211 | 3,186 | 3,209 | 39,084 | 3,257 |
| 血漿 | 478 | 542 | 589 | 640 | 595 | 618 | 558 | 439 | 474 | 440 | 412 | 510 | 6,295 | 525 |
| 血小板 | 684 | 652 | 581 | 657 | 597 | 598 | 642 | 633 | 661 | 702 | 602 | 649 | 7,658 | 638 |
| 平成28年度 | 4,735 | 4,877 | 5,133 | 4,963 | 4,947 | 4,500 | 4,720 | 4,503 | 4,749 | 4,741 | 4,421 | 4,626 | 56,915 | 4,743 |
| 200mL | 84 | 42 | 62 | 83 | 66 | 76 | 63 | 56 | 44 | 66 | 70 | 63 | 775 | 65 |
| 400mL | 3,490 | 3,551 | 3,911 | 3,595 | 3,686 | 3,215 | 3,425 | 3,298 | 3,564 | 3,503 | 3,299 | 3,465 | 42,002 | 3,500 |
| 血漿 | 425 | 553 | 528 | 629 | 534 | 547 | 534 | 468 | 417 | 478 | 419 | 469 | 6,001 | 500 |
| 血小板 | 736 | 731 | 632 | 656 | 661 | 662 | 698 | 681 | 724 | 694 | 633 | 629 | 8,137 | 678 |

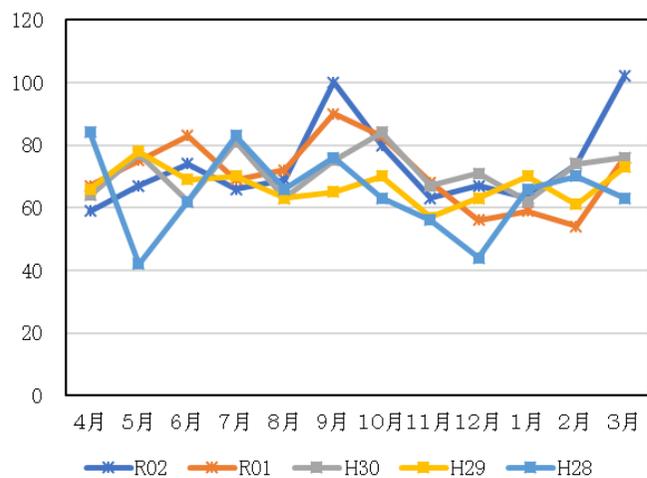
【 合計 】



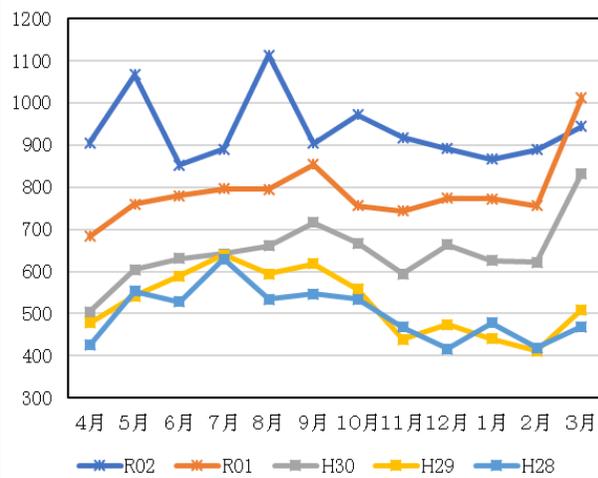
【 400mL献血 】



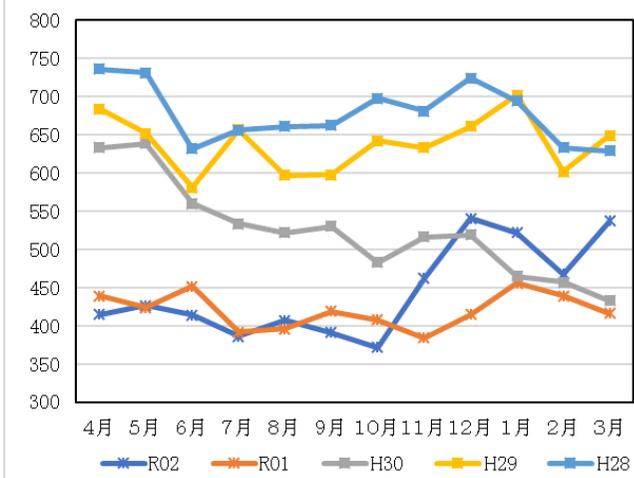
【 200mL献血 】



【 血漿成分献血 】



【 血小板献血 】



(4) 受け入れ施設別献血者数

長崎県では、各地域の団体、事業所、学校等の組織を対象とした献血バス、固定施設の献血ルームのほか、出張採血で献血者を受け入れています。受け入れ施設別の献血者数の推移を下の表に示しています。血液センター母体での受け入れは、献血ルーム「西海」受け入れ開始に伴い平成3年4月から佐世保赤十字血液センターが中止、長崎県血液センターでは平成27年4月から採血業務の効率化のため休止しています。

最近の5か年の状況をみると、出張採血の実績はなく、全て献血ルームと献血バスでの受け入れとなっております。

令和2年度の受け入れ施設別構成比率は、献血ルームが54.8%、献血バスが45.2%で、例年よりも献血ルームの割合が高くなっております。

【 受け入れ施設別献血者数の推移（血液センター別） 】

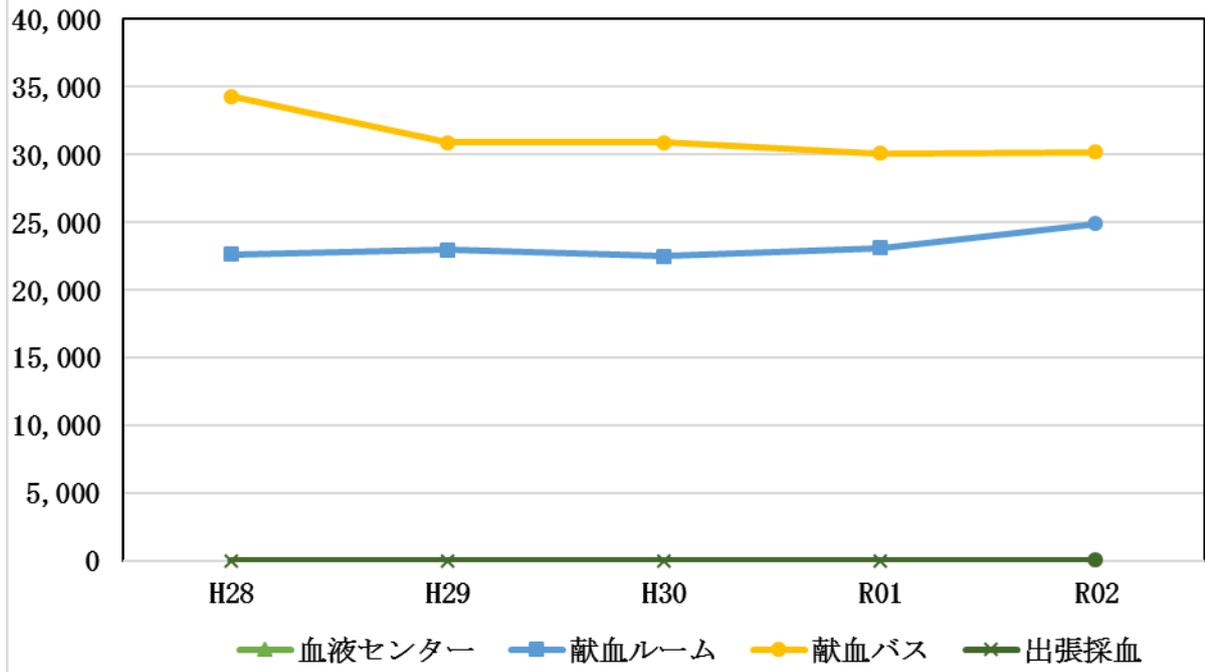
○受け入れ施設別献血者の経年変化（人）

| 年度 | 区分 | 献血者数 | 血液センター** | 献血ルーム | 献血バス | 出張採血 | 合計 |
|--------|-------|--------|----------|--------|--------|------|--------|
| 令和2年度 | | 54,947 | | 24,826 | 30,121 | | 54,947 |
| | 200mL | 884 | | 553 | 331 | | 884 |
| | 400mL | 37,510 | | 7,720 | 29,790 | | 37,510 |
| | 血漿 | 11,211 | | 11,211 | 0 | | 11,211 |
| | 血小板 | 5,342 | | 5,342 | 0 | | 5,342 |
| 平成31年度 | | 53,214 | | 23,107 | 30,107 | | 53,214 |
| | 200mL | 852 | | 459 | 393 | | 852 |
| | 400mL | 37,840 | | 8,126 | 29,714 | | 37,840 |
| | 血漿 | 9,482 | | 9,482 | 0 | | 9,482 |
| | 血小板 | 5,040 | | 5,040 | 0 | | 5,040 |
| 平成30年度 | | 53,349 | | 22,457 | 30,892 | | 53,349 |
| | 200mL | 856 | | 409 | 447 | | 856 |
| | 400mL | 38,438 | | 7,993 | 30,445 | | 38,438 |
| | 血漿 | 7,764 | | 7,764 | 0 | | 7,764 |
| | 血小板 | 6,291 | | 6,291 | 0 | | 6,291 |
| 平成29年度 | | 53,842 | | 22,934 | 30,908 | | 53,842 |
| | 200mL | 805 | | 398 | 407 | | 805 |
| | 400mL | 39,084 | | 8,583 | 30,501 | | 39,084 |
| | 血漿 | 6,295 | | 6,295 | | | 6,295 |
| | 血小板 | 7,658 | | 7,658 | | | 7,658 |
| 平成28年度 | | #REF! | | 22,638 | 34,277 | | 56,915 |
| | 200mL | #REF! | | 354 | 421 | | 775 |
| | 400mL | #REF! | | 8,146 | 33,856 | | 42,002 |
| | 血漿 | #REF! | | 6,001 | 0 | | 6,001 |
| | 血小板 | #REF! | | 8,137 | 0 | | 8,137 |

※H26年度からシステム新規入れ替えのため、長崎県全体としてのみ表示

※※H27年度から血液センター母体での採血業務休止

【 受け入れ施設別献血者数の経年変化 】

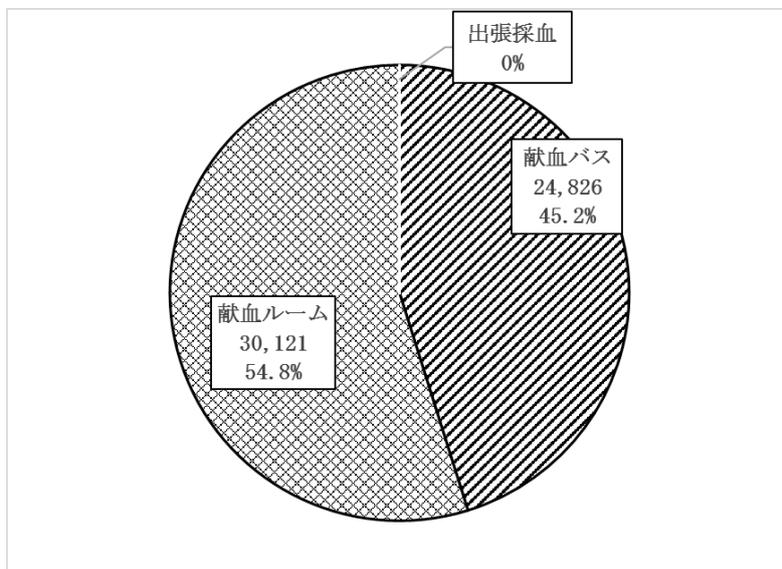


【 献血者の受け入れ施設別構成比の経年変化 】

[長 崎 県 全 体]

| | 血液センター | 献血ルーム | 献血バス | 出張採血 |
|--------|--------|-------|-------|------|
| 令和2年度 | - | 54.8% | 45.2% | 0.0% |
| 令和元年度 | - | 43.4% | 56.6% | 0.0% |
| 平成30年度 | - | 43.3% | 56.4% | 0.0% |
| 平成29年度 | - | 41.7% | 57.4% | 0.0% |
| 平成28年度 | - | 41.7% | 54.3% | 0.0% |

【 令和2年度受け入れ施設別献血者構成比 (%) 】



(5) 性別献血者数

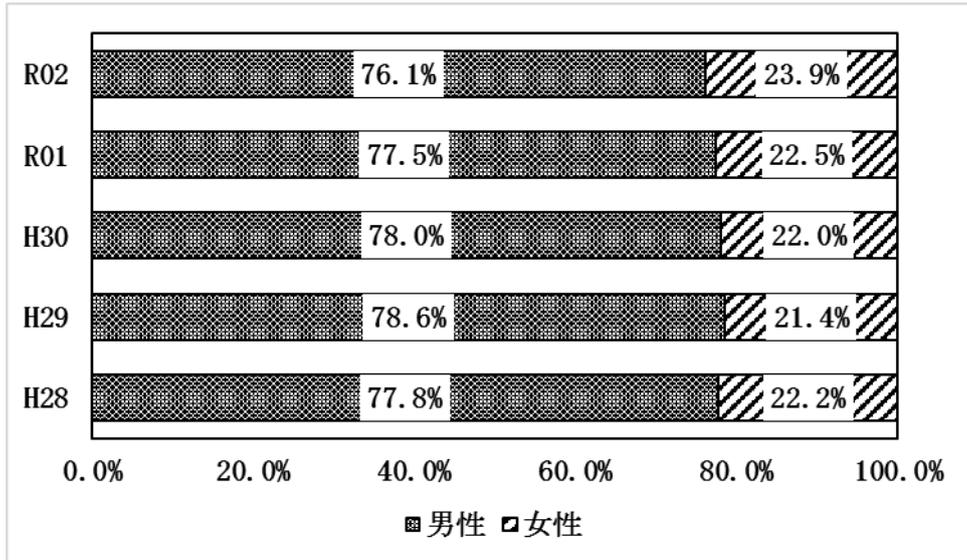
全献血者の男女別構成比をみると、令和2年度は男性が76.1%、女性が23.9%となっています。ここ数年は男女比に大きな変化は見られません。

献血の種類別に男女別構成比をみると、400mL献血、血漿成分献血、血小板成分献血は男性の割合が高く、それぞれ77.3%、71.6%、88.6%となっています。一方、200mL献血は女性の割合が88.2%と高くなっています。

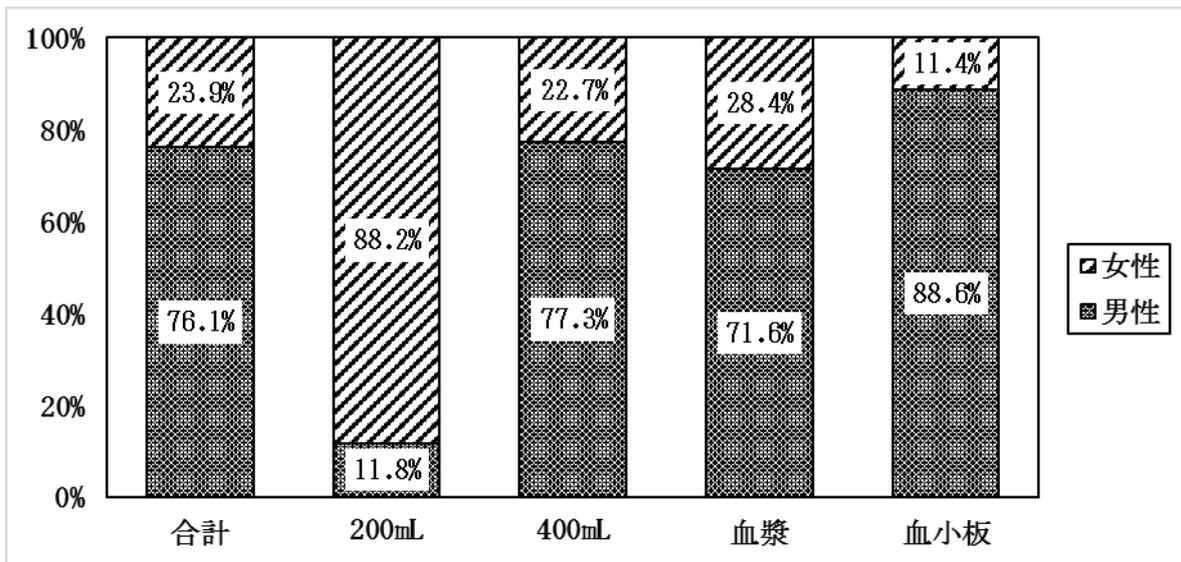
【 性別献血者数の経年変化 】

| | 男 | | 女 | | 合計 | |
|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| | 献血者 | 割合 | 献血者 | 割合 | | |
| 令和2年度 | 41,840 | 76.1% | 13,107 | 23.9% | 54,947 | |
| | 200mL | 104 | 11.8% | 780 | 88.2% | 884 |
| | 400mL | 28,977 | 77.3% | 8,533 | 22.7% | 37,510 |
| | 血漿 | 8,024 | 71.6% | 3,187 | 28.4% | 11,211 |
| | 血小板 | 4,735 | 88.6% | 607 | 11.4% | 5,342 |
| 令和元年度 | 41,235 | 77.5% | 11,979 | 22.5% | 53,214 | |
| | 200mL | 94 | 11.0% | 758 | 89.0% | 852 |
| | 400mL | 29,584 | 78.2% | 8,256 | 21.8% | 37,840 |
| | 血漿 | 7,000 | 73.8% | 2,482 | 26.2% | 9,482 |
| | 血小板 | 4,557 | 90.4% | 483 | 9.6% | 5,040 |
| 平成30年度 | 41,636 | 78.0% | 11,713 | 22.0% | 53,349 | |
| | 200mL | 88 | 10.3% | 768 | 89.7% | 856 |
| | 400mL | 30,206 | 78.6% | 8,232 | 21.4% | 38,438 |
| | 血漿 | 5,858 | 75.5% | 1,906 | 24.5% | 7,764 |
| | 血小板 | 5,484 | 87.2% | 807 | 12.8% | 6,291 |
| 平成29年度 | 42,320 | 78.6% | 11,522 | 21.4% | 53,842 | |
| | 200mL | 83 | 10.3% | 722 | 89.7% | 805 |
| | 400mL | 30,924 | 79.1% | 8,160 | 20.9% | 39,084 |
| | 血漿 | 4,677 | 74.3% | 1,618 | 25.7% | 6,295 |
| | 血小板 | 6,636 | 86.7% | 1,022 | 13.3% | 7,658 |
| 平成28年度 | 44,286 | 77.8% | 12,629 | 22.2% | 56,915 | |
| | 200mL | 90 | 11.6% | 685 | 88.4% | 775 |
| | 400mL | 33,034 | 78.6% | 8,968 | 21.4% | 42,002 |
| | 血漿 | 4,306 | 71.8% | 1,695 | 28.2% | 6,001 |
| | 血小板 | 6,856 | 84.3% | 1,281 | 15.7% | 8,137 |

【 性別献血者構成比率の推移 】



【 令和2年度性別献血者構成比率 】



(6) 年齢別献血者数

献血者数を年齢別にみると、50歳以上が最も多く、令和2年度では全体に占める割合が38.0%となっており、次いで40～49歳 27.4%、30～39歳 17.7% の順となっています。

献血の種類別にみると、200mL献血では29歳以下が多く、400mL献血、血漿献血、血小板献血では40歳以上が多くなっています。また、40歳以上の方が占める割合は年々上昇し、逆に39歳以下の献血者は、年々減少しています。10代及び20代の献血者全体に占める割合をみると、平成28年度は20.1%、令和2年度では17.0%と5年間で3.1%減少しており、若年層の献血者確保が課題となっています。

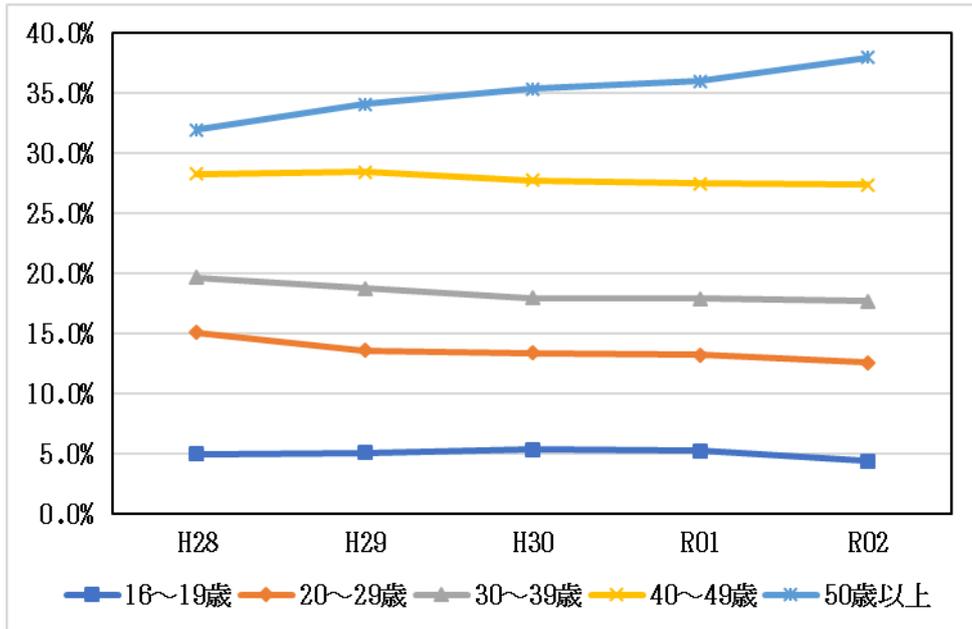
なお、平成11年4月からは、200mL及び400mL献血並びに血漿成分献血の献血可能年齢が従来の64歳から69歳に引き上げられ、平成23年4月からは、男性に限り400mL献血可能年齢が18歳から17歳に引き下げられ、血小板成分献血可能年齢は54歳から69歳に引き上げられました。

(注：65歳から69歳の方は、60歳から64歳までの間に献血経験がある方に限る。)

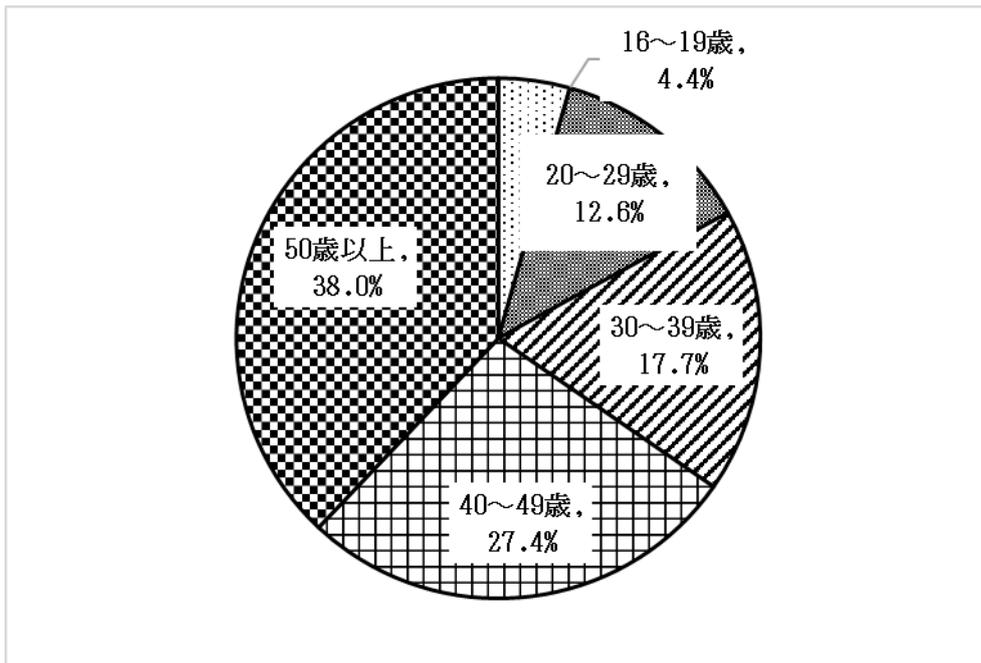
【 年齢別献血者数の経年変化 】

| | 16～19歳 | | 20～29歳 | | 30～39歳 | | 40～49歳 | | 50歳以上 | | 合計 | |
|--------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 献血者 | 割合 | 献血者 | 割合 | 献血者 | 割合 | 献血者 | 割合 | 献血者 | 割合 | | |
| 令和2年度 | 2,404 | 4.4% | 6,897 | 12.6% | 9,710 | 17.7% | 15,038 | 27.4% | 20,898 | 38.0% | 54,947 | |
| 200mL | 295 | 33.4% | 245 | 27.7% | 113 | 12.8% | 102 | 11.5% | 129 | 14.6% | 884 | |
| | 400mL | 1,869 | 5.0% | 5,002 | 13.3% | 6,960 | 18.6% | 10,086 | 26.9% | 13,593 | 36.2% | 37,510 |
| | 血漿 | 184 | 1.6% | 1,223 | 10.9% | 1,683 | 15.0% | 3,115 | 27.8% | 5,006 | 44.7% | 11,211 |
| | 血小板 | 56 | 1.0% | 427 | 8.0% | 954 | 17.9% | 1,735 | 32.5% | 2,170 | 40.6% | 5,342 |
| 平成元年度 | 2,811 | 5.3% | 7,051 | 13.3% | 9,552 | 18.0% | 14,634 | 27.5% | 19,166 | 36.0% | 53,214 | |
| 200mL | 304 | 35.7% | 207 | 24.3% | 96 | 11.3% | 111 | 13.0% | 134 | 15.7% | 852 | |
| | 400mL | 2,272 | 6.0% | 5,381 | 14.2% | 7,083 | 18.7% | 10,266 | 27.1% | 12,838 | 33.9% | 37,840 |
| | 血漿 | 196 | 2.1% | 1,080 | 11.4% | 1,505 | 15.9% | 2,579 | 27.2% | 4,122 | 43.5% | 9,482 |
| | 血小板 | 39 | 0.8% | 383 | 7.6% | 868 | 17.2% | 1,678 | 33.3% | 2,072 | 41.1% | 5,040 |
| 平成30年度 | 2,863 | 5.4% | 7,148 | 13.4% | 9,625 | 18.0% | 14,813 | 27.8% | 18,900 | 35.4% | 53,349 | |
| 200mL | 291 | 34.0% | 238 | 27.8% | 109 | 12.7% | 87 | 10.2% | 131 | 15.3% | 856 | |
| | 400mL | 2,435 | 6.3% | 5,536 | 14.4% | 7,029 | 18.3% | 10,528 | 27.4% | 12,910 | 33.6% | 38,438 |
| | 血漿 | 94 | 1.2% | 843 | 10.9% | 1,339 | 17.2% | 2,050 | 26.4% | 3,438 | 44.3% | 7,764 |
| | 血小板 | 43 | 0.7% | 531 | 8.4% | 1,148 | 18.2% | 2,148 | 34.1% | 2,421 | 38.5% | 6,291 |
| 平成29年度 | 2,732 | 5.1% | 7,312 | 13.6% | 10,112 | 18.8% | 15,326 | 28.5% | 18,360 | 34.1% | 53,842 | |
| 200mL | 240 | 29.8% | 219 | 27.2% | 99 | 12.3% | 104 | 12.9% | 143 | 17.8% | 805 | |
| | 400mL | 2,408 | 6.2% | 5,801 | 14.8% | 7,342 | 18.8% | 10,909 | 27.9% | 12,624 | 32.3% | 39,084 |
| | 血漿 | 45 | 0.7% | 650 | 10.3% | 1,152 | 18.3% | 1,700 | 27.0% | 2,748 | 43.7% | 6,295 |
| | 血小板 | 39 | 0.5% | 642 | 8.4% | 1,519 | 19.8% | 2,613 | 34.1% | 2,845 | 37.2% | 7,658 |
| 平成28年度 | 2,831 | 5.0% | 8,582 | 15.1% | 11,184 | 19.7% | 16,097 | 28.3% | 18,221 | 32.0% | 56,915 | |
| 200mL | 200 | 25.8% | 188 | 24.3% | 123 | 15.9% | 106 | 13.7% | 158 | 20.4% | 775 | |
| | 400mL | 2,516 | 6.0% | 6,808 | 16.2% | 8,116 | 19.3% | 11,612 | 27.6% | 12,950 | 30.8% | 42,002 |
| | 血漿 | 41 | 0.7% | 704 | 11.7% | 1,197 | 19.9% | 1,668 | 27.8% | 2,391 | 39.8% | 6,001 |
| | 血小板 | 74 | 0.9% | 882 | 10.8% | 1,748 | 21.5% | 2,711 | 33.3% | 2,722 | 33.5% | 8,137 |

【 年齢別献血者数の経年変化 】



【 令和2年度年齢別献血者構成比 】



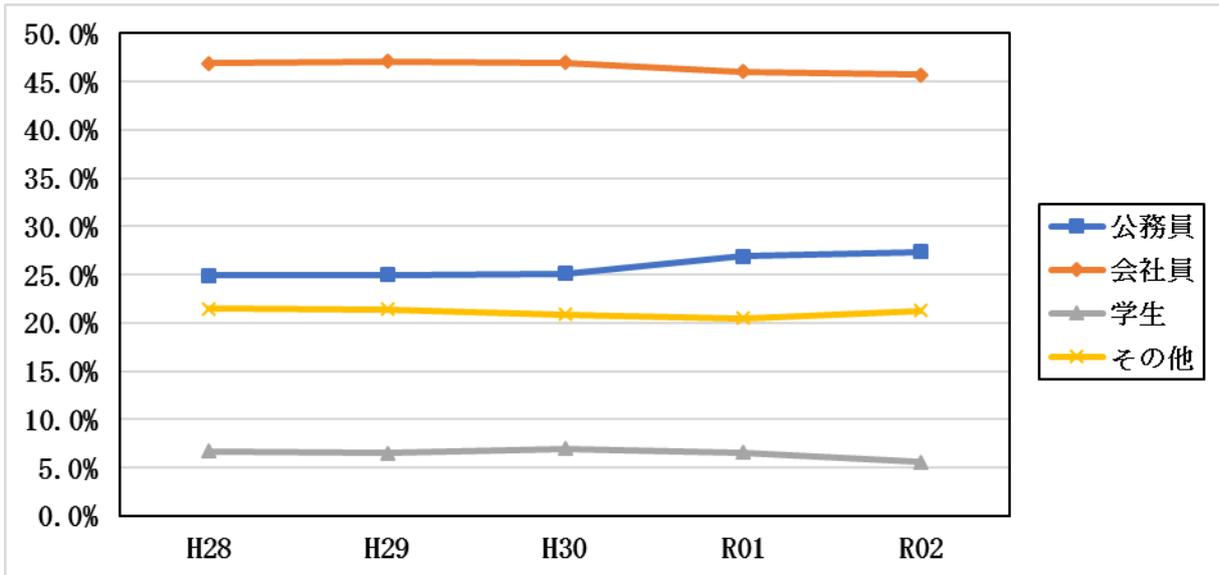
(7) 職業別献血者数

献血者数を職業別にみると、令和2年度は献血者全体で会社員が25,101人(45.7%)と最も多く、次いで公務員15,079人(27.4%)の順となっています。また、職業別構成比についてはここ数年大きな変化は見られません。

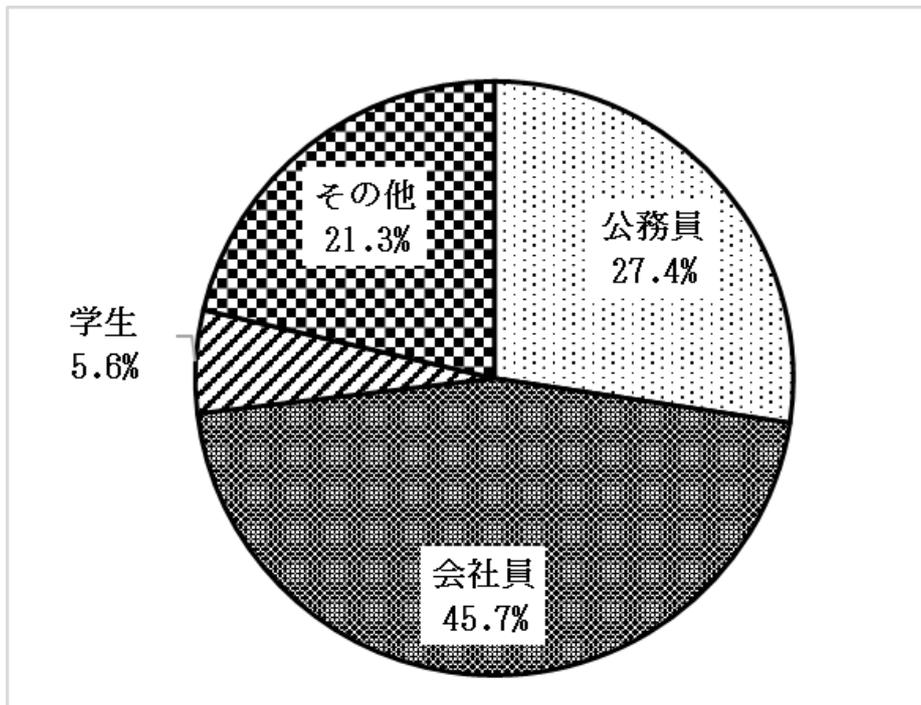
【 職業別献血者数の経年変化 】

| | 公務員 | | 会社員 | | 学生 | | その他 | | 合計 | |
|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|
| | 献血者 | 割合 | 献血者 | 割合 | 献血者 | 割合 | 献血者 | 割合 | | |
| 令和2年度 | 15,079 | 27.4% | 25,101 | 45.7% | 3,061 | 5.6% | 11,706 | 21.3% | 54,947 | |
| | 200mL | 66 | 7.5% | 292 | 33.0% | 329 | 37.2% | 197 | 22.3% | 884 |
| | 400mL | 10,736 | 28.6% | 17,146 | 45.7% | 2,205 | 5.9% | 7,423 | 19.8% | 37,510 |
| | 血漿 | 2,851 | 25.4% | 5,024 | 44.8% | 406 | 3.6% | 2,930 | 26.1% | 11,211 |
| | 血小板 | 1,426 | 26.7% | 2,639 | 49.4% | 121 | 2.3% | 1,156 | 21.6% | 5,342 |
| 平成31年度 | 14,323 | 26.9% | 24,501 | 46.0% | 3,484 | 6.5% | 10,906 | 20.5% | 53,214 | |
| | 200mL | 68 | 8.0% | 284 | 33.3% | 332 | 39.0% | 168 | 19.7% | 852 |
| | 400mL | 10,534 | 27.8% | 17,565 | 46.4% | 2,712 | 7.2% | 7,029 | 18.6% | 37,840 |
| | 血漿 | 2,457 | 25.9% | 4,147 | 43.7% | 349 | 3.7% | 2,529 | 26.7% | 9,482 |
| | 血小板 | 1,264 | 25.1% | 2,505 | 49.7% | 91 | 1.8% | 1,180 | 23.4% | 5,040 |
| 平成30年度 | 13,372 | 25.1% | 25,076 | 47.0% | 3,747 | 7.0% | 11,154 | 20.9% | 53,349 | |
| | 200mL | 52 | 6.1% | 302 | 35.3% | 324 | 37.9% | 178 | 20.8% | 856 |
| | 400mL | 9,784 | 25.5% | 18,297 | 47.6% | 3,067 | 8.0% | 7,290 | 19.0% | 38,438 |
| | 血漿 | 1,920 | 24.7% | 3,450 | 44.4% | 245 | 3.2% | 2,149 | 27.7% | 7,764 |
| | 血小板 | 1,616 | 25.7% | 3,027 | 48.1% | 111 | 1.8% | 1,537 | 24.4% | 6,291 |
| 平成29年度 | 13,468 | 25.0% | 25,349 | 47.1% | 3,477 | 6.5% | 11,548 | 21.4% | 53,842 | |
| | 200mL | 61 | 7.6% | 244 | 30.3% | 285 | 35.4% | 215 | 26.7% | 805 |
| | 400mL | 9,939 | 25.4% | 18,548 | 47.5% | 2,940 | 7.5% | 7,657 | 19.6% | 39,084 |
| | 血漿 | 1,541 | 24.5% | 2,818 | 44.8% | 128 | 2.0% | 1,808 | 28.7% | 6,295 |
| | 血小板 | 1,927 | 25.2% | 3,739 | 48.8% | 124 | 1.6% | 1,868 | 24.4% | 7,658 |
| 平成28年度 | 14,183 | 24.9% | 26,688 | 46.9% | 3,813 | 6.7% | 12,231 | 21.5% | 56,915 | |
| | 200mL | 63 | 8.1% | 265 | 34.2% | 230 | 29.7% | 217 | 28.0% | 775 |
| | 400mL | 10,528 | 25.1% | 19,902 | 47.4% | 3,258 | 7.8% | 8,314 | 19.8% | 42,002 |
| | 血漿 | 1623 | 27.0% | 2,544 | 42.4% | 146 | 2.4% | 1,688 | 28.1% | 6,001 |
| | 血小板 | 1969 | 24.2% | 3,977 | 48.9% | 179 | 2.2% | 2,012 | 24.7% | 8,137 |

【 職業別構成比の経年変化 】



【 令和2年度職業別献血者構成比 】



(8) 高校生の献血状況

高校生の献血は、校長先生はじめ諸先生・学校医並びに保護者の皆様のご理解とご協力により、学校単位の集団献血が行われています。さらに、学校内だけでなく街頭においても献血協力の呼びかけを行うなどご協力をいただいております、他の献血者の手本となっています。

令和2年度は、校内献血（実施校12校、献血者474人）、校外献血（実施校57校、献血者383人）と、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校施設内への移動採血車の受入ができなかった事例が相次ぎ、例年よりも特に低い数字となっています。

献血は1回行うと不安は解消されると言われます。また、相互扶助、博愛の精神を若いうちから持っていただき、献血の輪を社会に出ても広げていただくため、今後とも学校単位で献血の重要性に関する学習等に取り組んでいただき、できるだけ多くの生徒さんが高校生活3年間のうちに1回は献血を体験していただきたいと思っております。

【 県内高校生の献血状況経年変化 】

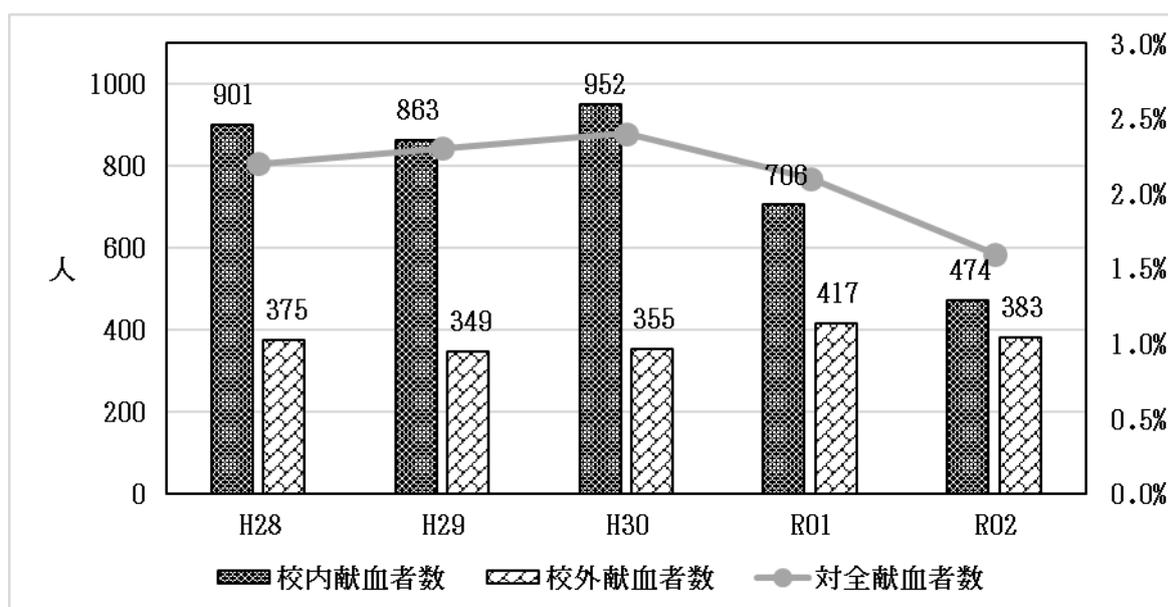
| | | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 |
|----|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 校内 | 献血実施学校数 | 12校 | 22校 | 21校 | 20校 | 22校 |
| | (对学校数比) | (14.1%) | (26.6%) | (26.3%) | (26.0%) | (28.6%) |
| | 献血者数 | 474人 | 706人 | 952人 | 863人 | 901人 |
| | (对生徒数比) | (1.3%) | (2.0%) | (2.6%) | (2.2%) | (2.3%) |
| 校外 | 学校数 | 57校 | 63校 | 59校 | 58校 | 56校 |
| | 献血者数 | 383人 | 417人 | 355人 | 349人 | 375人 |
| 合計 | 献血者数 | 857人 | 1,123人 | 1,307人 | 1,212人 | 1,276人 |
| | 对全献血者数 | 1.6% | 2.1% | 2.4% | 2.3% | 2.2% |

※県内高校 77校（生徒数35,687人）（全日制のみ、校数には分校数等も含む）

公立高校 55校（生徒数22,516人）、私立高校 22校（生徒数13,171人）

（令和2年5月1日現在 長崎県教育委員会調べ）

【 県内高校生の献血状況経年変化 】



【 令和2年度高校別献血者数 】

| 学 校 名 | 校内 | 校外 | 学 校 名 | 校内 | 校外 | 学 校 名 | 校内 | 校外 |
|------------|-----|----|-----------|----|----|-------------|-----|-----|
| 長 崎 東 | | 9 | 西 海 学 園 | | 4 | 島 原 翔 南 | | 1 |
| 長 崎 西 | | 11 | 聖和女子学院 | | 7 | 猶 興 館 | 2 | 3 |
| 長 崎 南 | | 6 | 九州文化学園 | | 4 | 北 松 農 業 | | 4 |
| 長 崎 北 | | | 久田学園佐世保女子 | | | 平 戸 | 6 | |
| 長崎北陽台 | | 6 | 佐世保実業 | | 2 | 松 浦 | | 3 |
| 長 崎 工 業 | | 5 | 大 崎 | | 1 | 北 松 西 | | |
| 長 崎 鶴 洋 | | 4 | 西 彼 杵 | | | 清 峰 | | 1 |
| 長 崎 明 誠 | | 4 | 西 彼 農 業 | | | 鹿 町 工 業 | 7 | 2 |
| 鳴 滝 | | 5 | 大 村 | | 15 | 五 島 | | 1 |
| 鳴滝(定時・通信制) | | | 大 村 工 業 | 23 | 10 | 五 島 南 | | |
| 長 崎 商 業 | | 3 | 大 村 城 南 | | 5 | 奈 留 | | |
| 海 星 | 73 | 22 | 川 棚 | | 2 | 五 島 海 陽 | | |
| 長 崎 南 山 | 167 | 8 | 波 佐 見 | 18 | 1 | 宇 久 | | |
| 活 水 | | 6 | 向 陽 | | 8 | 上 五 島 | | |
| 長 崎 女 子 | | 1 | 諫 早 | | 10 | 中 五 島 | | |
| 長 崎 玉 成 | | 9 | 西 陵 | | 6 | 壱 岐 | | 5 |
| 長崎女子商業 | | | 諫 早 東 | | | 壱 岐 商 業 | | |
| 聖母の騎士 | | | 諫 早 農 業 | | 9 | 対 馬 | 5 | |
| 瓊 浦 | 62 | | 諫 早 商 業 | | 3 | 豊 玉 | | |
| 純 心 女 子 | | 4 | 鎮 西 学 院 | | 4 | 上 対 馬 | | |
| 総科大附属 | | 2 | 長崎日本大学 | | 7 | | | |
| 精道三川台 | | 4 | 創 成 館 | 74 | 4 | 佐世保工業高等専門学校 | | 9 |
| 青 雲 | | 19 | 島 原 | | 1 | 鶴南特別支援学校 | | |
| 佐 世 保 南 | | 23 | 島 原 農 業 | | | 桜が丘特別支援学校 | | 1 |
| 佐 世 保 北 | | 44 | 島 原 工 業 | | 1 | 虹の原特別支援学校 | | |
| 佐 世 保 西 | | 24 | 島 原 商 業 | | 1 | 島原特別支援学校 | | |
| 佐世保工業 | 3 | 20 | 島 原 中 央 | 34 | | こころ未来 | | 2 |
| 佐世保商業 | | 4 | 国 見 | | | 県外・その他 | 104 | 29 |
| 東 翔 | | 2 | 小 浜 | | | | | |
| 佐世保中央 | | | 口 加 | | 1 | 計 | 578 | 412 |

※学校名に下線があるのは、公立高校を示す。

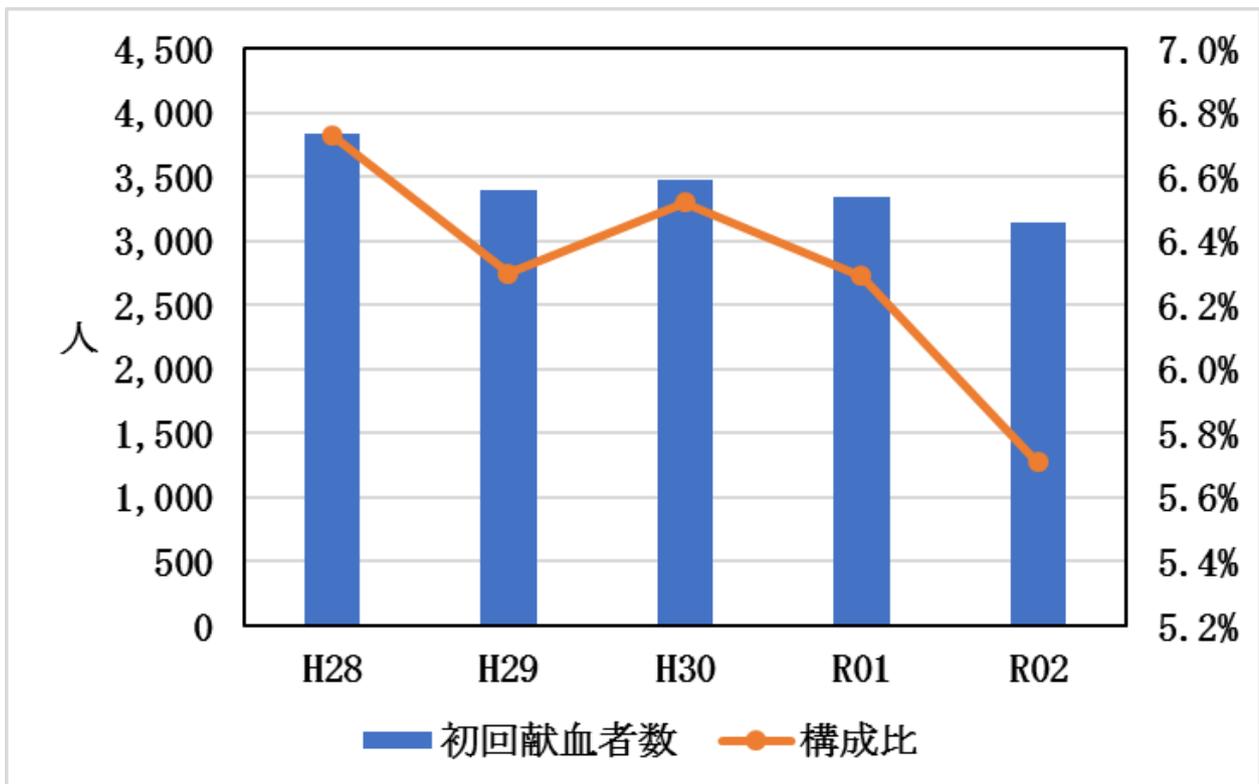
(9) 初回献血者数

全献血者に占める初回献血者の構成比及び初回献血者数は平成28年度以降、6%台、3千人台で推移し、減少傾向にあります。令和2年度は献血者全体の5.71%にあたる3,138人の方々に初めて献血していただきました。

【 初回献血者数の経年変化 】

| | 長崎県全体 | | | 長崎県赤十字血液センター | | | 佐世保出張所 | | |
|--------|---------|-------|------------|--------------|-------|------------|---------|-------|------------|
| | 献血者数(人) | | 初回の 構成比 | 献血者数(人) | | 初回の 構成比 | 献血者数(人) | | 初回の 構成比 |
| | 全 体 | 初 回 | | 全 体 | 初 回 | | 全 体 | 初 回 | |
| 令和2年度 | 54,947 | 3,138 | 5.71% | 32,887 | 2,213 | 6.73% | 22,060 | 925 | 4.19% |
| 令和元年度 | 53,214 | 3,348 | 6.29% | 31,075 | 2,124 | 6.84% | 22,139 | 1,224 | 5.53% |
| 平成30年度 | 53,349 | 3,478 | 6.52% | 31,266 | 2,212 | 7.07% | 22,083 | 1,266 | 5.73% |
| 平成29年度 | 53,842 | 3,395 | 6.31% | 31,581 | 2,221 | 7.03% | 22,261 | 1,174 | 5.27% |
| 平成28年度 | 56,915 | 3,831 | 6.73% | 33,159 | 2,454 | 7.40% | 23,756 | 1,377 | 5.80% |

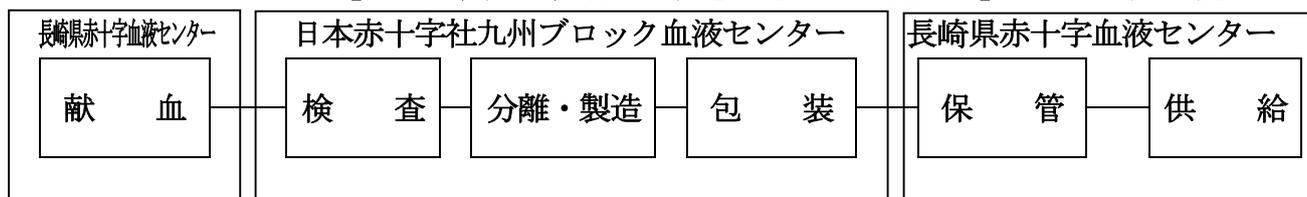
【 長崎県全体の初回献血者数の推移 】



3 血液製剤の製造・供給状況

献血ルームや移動採血車等で献血された血液は、長崎県赤十字血液センター等へ集約されたのち、日本赤十字社九州ブロック血液センターに運ばれ、検査、分離・製造、包装されて再び九州各県の血液センターへ送付・保管され、要請があった医療機関へ供給されます。

【 血液製剤が製造・供給されるまでの流れ 】 令和3年4月現在



3-1 献血後の各種検査

献血された血液は、血液型検査や輸血後感染症予防のための血清学的な抗原・抗体検査（CLEIA法）や核酸増幅検査（NAT検査）、献血後にお知らせする生化学検査・血球計数検査などが実施されています。

NAT検査は、抗原や抗体ではなくウイルスを構成する核酸（DNAまたはRNA）の一部を約1億倍に増幅しウイルスの有無を検出するため、非常に感度と特異性が高く、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、エイズウイルス検査について実施され、血液製剤の安全性の向上を図っています。

（1）検査項目等

①ABO血液型検査

ABO血液型の検査を行います。

②Rh血液型検査

Rh血液型の検査を行います。

③不規則抗体検査

輸血副作用の原因となる臨床的意義のある抗体の有無を検査するもので、抗体を保有した血液は輸血には使用しません。

④梅毒血清学的検査

CLEIA法（化学発光酵素免疫法）で検査を行い、陰性または陽性を判定して、陰性のみを血液製剤に使用します。

⑤肝機能検査

急性肝炎等では、傷害された肝細胞から酵素が流出して血清中で著明に増加する原理を応用し、血清肝炎のスクリーニングテストとして酵素の値（ALT値）を測定し、異常値が出たものは血液製剤に使用しません。

⑥HBs抗原検査

HBs抗原はB型肝炎ウイルスの抗原の一種で、この検査はB型肝炎ウイルスに感染していないかどうかをCLEIA法（化学発光酵素免疫法）により検査し、陽性の場合は血液製剤に使用しません。

⑦HBc抗体及びHBs抗体検査

HBs抗原検査ではとらえきれないB型肝炎ウイルス感染を発見するための検査で、CLEIA法（化学発光酵素免疫法）により検査し、HBc抗体が陽性で中和抗体であるHBs抗体の力価が基準値より低い場合は血液製剤に使用しません。

⑧HTLV-1抗体検査

HTLV-1により引き起こされる疾患のATL（成人T細胞白血病）、HAM（脊髄疾患の一種）、ブドウ膜炎（眼球内にあるブドウ膜の炎症）、その他リウマチ様疾患はまれにしか発症しない特殊な疾病ですが、CLEIA法（化学発光酵素免疫法）により抗体の有無を検査し、陽性の場合は血液製剤に使用しません。

⑨HIV抗体検査

HIVウイルスの感染により産生される抗体の有無をCLEIA法（化学発光酵素免疫法）で検査し、陽性の場合は血液製剤に使用しません。

⑩HCV抗体検査

C型肝炎ウイルスに対する抗体の有無をCLEIA法（化学発光酵素免疫法）で検査し、陽性の場合は血液製剤に使用しません。

⑪ヒトパルボウイルスB19抗原検査

ヒトパルボウイルスB19は、小児における伝染性紅斑の原因ウイルスですが、溶血性貧血患者が感染すると重症の貧血発作を起こしたり、妊婦の感染による胎児の異常（胎児水腫）および流産の症例報告があります。CLEIA法（化学発光酵素免疫法）で検査し、陽性の場合は血液製剤に使用しません。

⑫NAT検査（核酸増幅検査）

B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、エイズウイルス検査については、ウイルスの遺伝子の主体であるDNA、RNAの一部を増やしてウイルスの存在を検出し、陽性の場合は血液製剤に使用しません。

(2) 検査結果

①ABO血液型検査

【 令和2年度ABO血液型別献血者数（県全体） 】

| | A | O | B | AB | 計 |
|------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 献血者数 | 21,615 | 16,172 | 11,308 | 5,852 | 54,947 |
| 割合 | 39.3% | 29.4% | 20.6% | 10.7% | — |

②Rh血液型検査

【 令和2年度Rh(-)血液型別献血者数(県全体) 】

| 全献血者数 | Rh(-)型献血者数 | 割合 |
|--------|------------|-------|
| 54,947 | 585 | 1.06% |

③献血後検査不合格状況

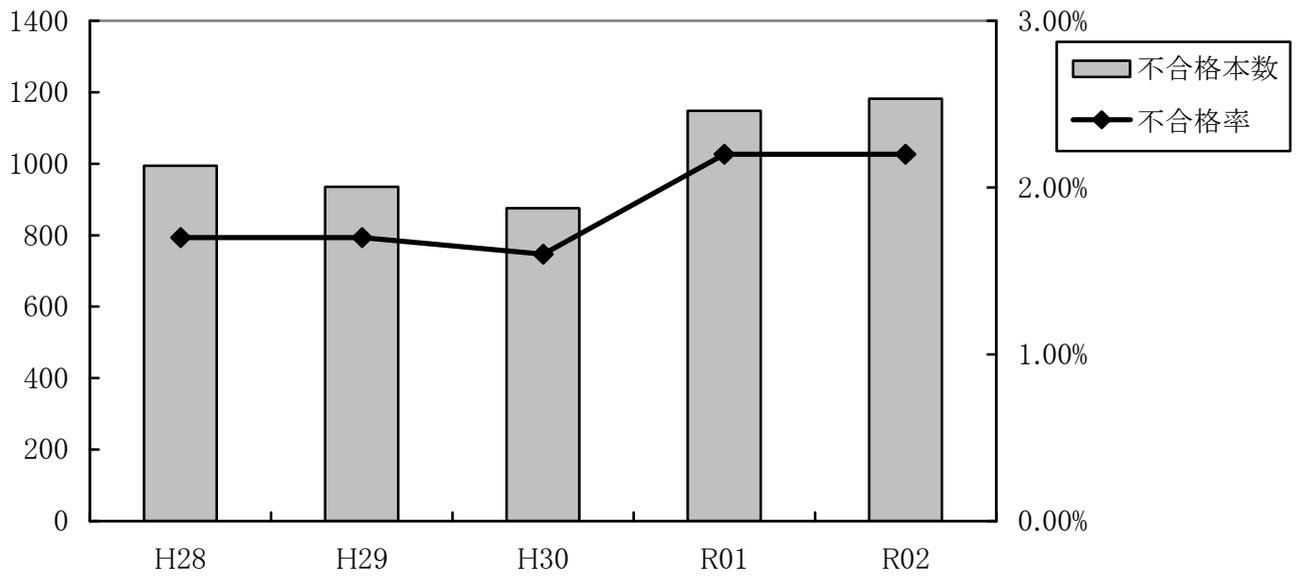
血液製剤の安全性を確保するため様々な検査を実施していますが、令和2年度に献血いただいた血液のうち2.2%が検査不合格になっております。平成27年度以前は4%台で推移しておりましたが、平成28年度から肝機能の基準値が緩和され、大きく減少しました。

【 献血後検査不合格者数の経年変化 】

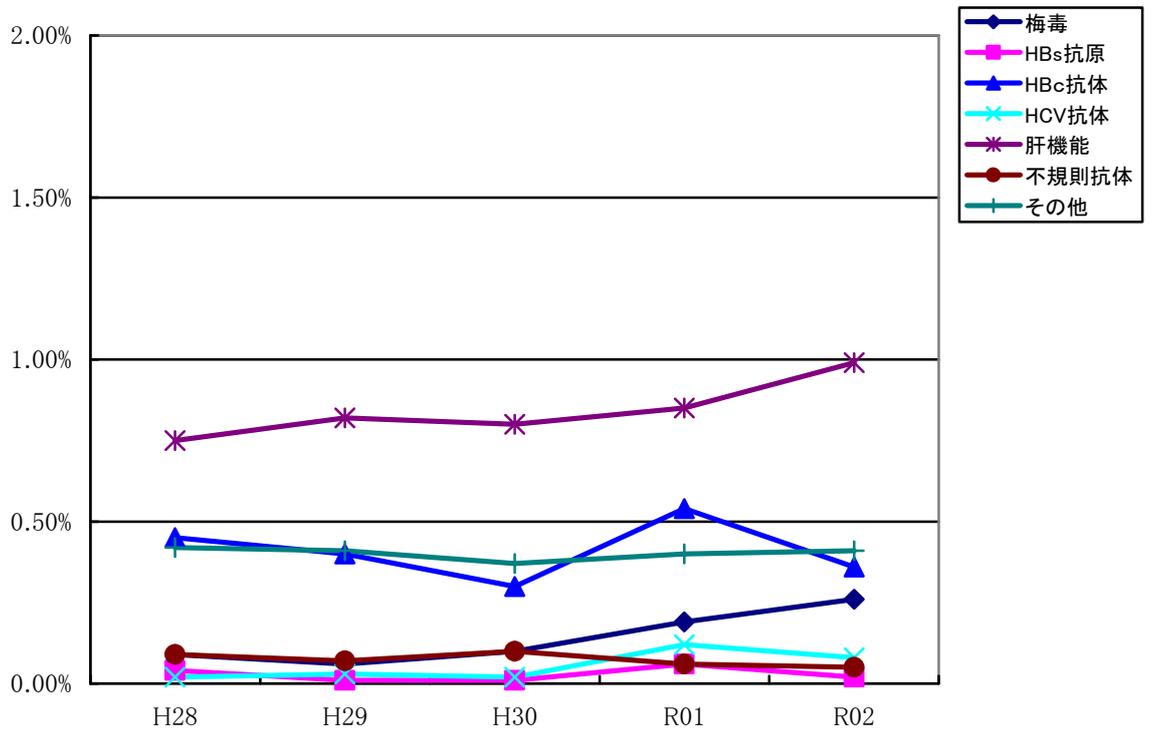
| 年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 採血本数 | 56,915 | 53,842 | 53,349 | 53,214 | 54,947 | |
| 不合格本数 | 994 | 935 | 876 | 1,148 | 1,182 | |
| 不合格率 | 1.7% | 1.7% | 1.6% | 2.2% | 2.2% | |
| 不合格の内訳 | 梅毒 | 41 | 30 | 36 | 103 | 145 |
| | 比率 | 0.09% | 0.06% | 0.10% | 0.19% | 0.26% |
| | HBs抗原 | 23 | 8 | 9 | 30 | 13 |
| | 比率 | 0.04% | 0.01% | 0.01% | 0.06% | 0.02% |
| | HBc抗体 | 254 | 215 | 174 | 289 | 197 |
| | 比率 | 0.45% | 0.40% | 0.30% | 0.54% | 0.36% |
| | HCV抗体 | 13 | 15 | 11 | 63 | 44 |
| | 比率 | 0.02% | 0.03% | 0.02% | 0.12% | 0.08% |
| | 肝機能 | 427 | 440 | 453 | 450 | 546 |
| | 比率 | 0.75% | 0.82% | 0.80% | 0.85% | 0.99% |
| | 不規則抗体 | 52 | 36 | 38 | 33 | 28 |
| | 比率 | 0.09% | 0.07% | 0.10% | 0.06% | 0.05% |
| | その他 | 238 | 221 | 195 | 214 | 228 |
| | 比率 | 0.42% | 0.41% | 0.36% | 0.40% | 0.41% |

(注) 不合格本数と原因別内訳合計数との差は、検査不合格原因の重複があるため

【 検査不合格の経年変化 】



【 不合格理由の経年変化 】



3-2 血液製剤の供給状況

昭和50年頃までの輸血は、保存血液主体で、すべての血液成分（赤血球、血小板、血漿など）を輸血していましたが、今日では医学の進歩に伴い、献血された血液を各成分に分けて必要な成分だけを輸血する方法が発達普及し、輸血の多くがこうした方法で行われるようになりました。

この輸血療法を『成分輸血療法』といい、

①必要な成分ごとに分けてあるので、すべての血液成分を輸血する場合に比べて、輸血量が少なく済み、患者の循環器系への負担の軽減に役立つ。

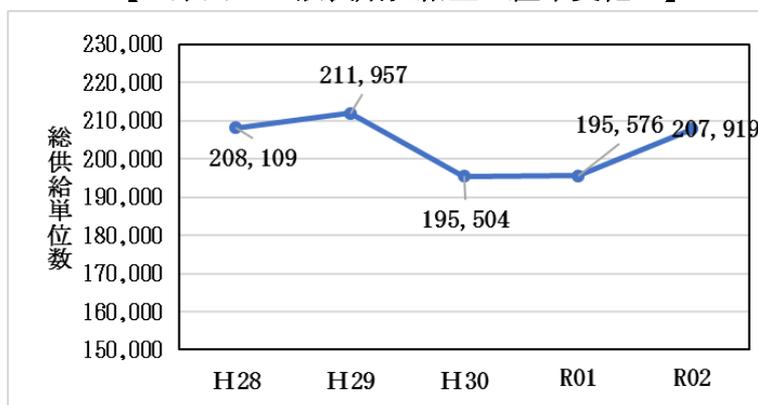
②治療に不必要な成分による発熱などの副作用が少なくなる。

などの大きな医学的な利点があると同時に、貴重な血液の有効利用にも役立っています。

(1) 全体の供給状況

血液製剤の総供給単位数は年々増加してきましたが、令和2年度は207,919単位と前年度から増加しました。

【 県内の血液製剤供給量の経年変化 】



(2) 製剤別供給状況

①全血製剤供給状況

全血製剤は、献血された血液に血液保存液を加えたもので、主に大量輸血時などに使用される製剤です。

近年、多くの医療機関で『成分輸血療法』が実施されるため、その供給はほとんどなくなり、平成13年度以降、供給実績はありません。

②赤血球製剤供給状況

赤血球製剤は、献血された血液を遠心分離し、上層の血漿層、白血球層の大部分を取り除いたもので、急性あるいは慢性の出血に対する治療や貧血の急速な補正などに使用される製剤です。

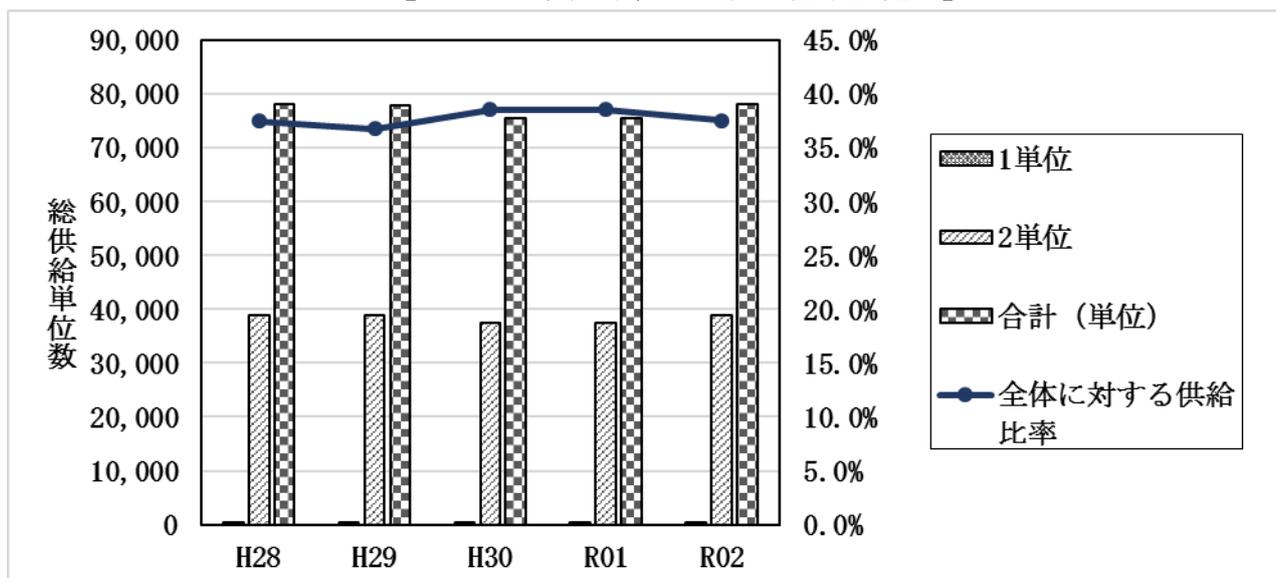
赤血球製剤の供給単位数は、令和2年度は77,949単位が供給され、全体の製剤供給に対する比率が37.5%となっております。

また、2単位製剤への移行が進んでおり、平成19年度以降、赤血球製剤全体に占める2単位製剤の供給比率は95%を超えて推移し、令和2年度では99.3%となっています。

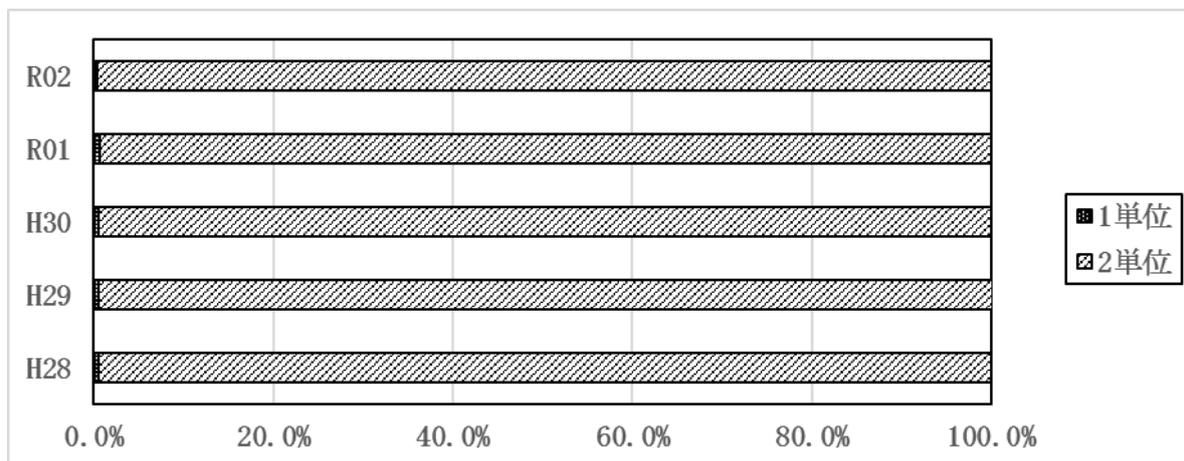
このように2単位製剤の需要が多くなってきているため、全血献血に協力していただける方には400mL献血への協力をお願いしています。

赤血球製剤には、赤血球液、解凍赤血球液、洗浄赤血球液などがありますが、令和2年度供給は、赤血球製剤の99.6%を赤血球液が占めています。

【 赤血球製剤単位別供給の経年変化 】



【 赤血球製剤単位別供給比率の経年変化 】



③血小板製剤供給状況

血小板製剤は、心臓手術の際など急激に血小板が減少した場合や、造血器腫瘍や再生不良性貧血などの血小板産生低下による止血や出血防止などに使用される製剤です。

令和2年度は、前年度に比べて5,750単位増加し、105,210単位が供給されています。

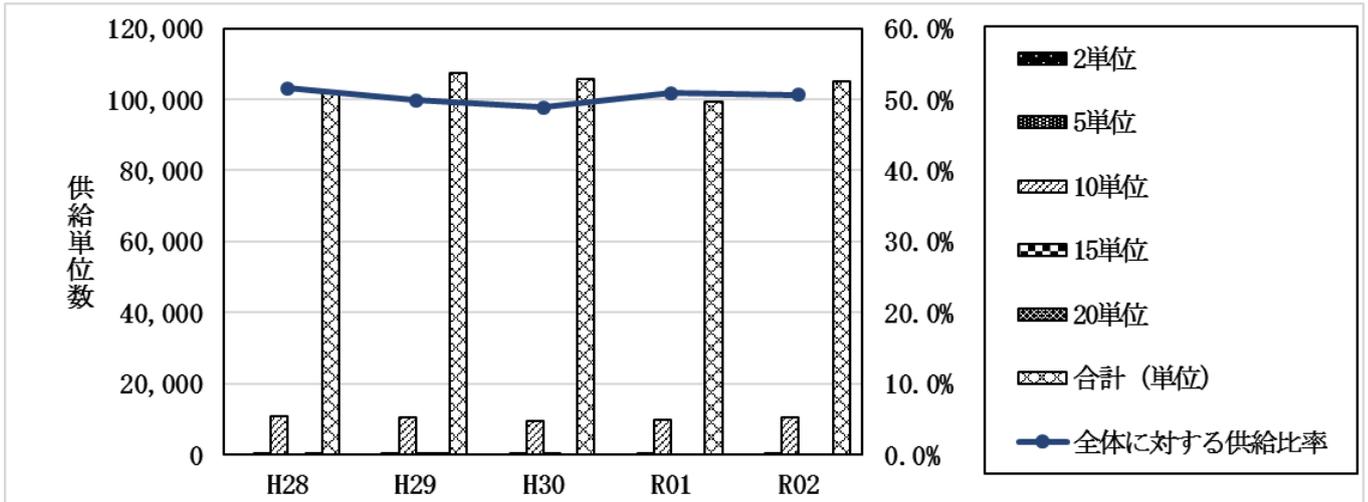
全体の製剤供給に対する比率は、平成13年度以降は40%を超えて推移し、令和2年度は50.6%となっています。

単位別に見ると、10単位製剤の供給が最も多く、令和2年度は10,415本が供給されました。

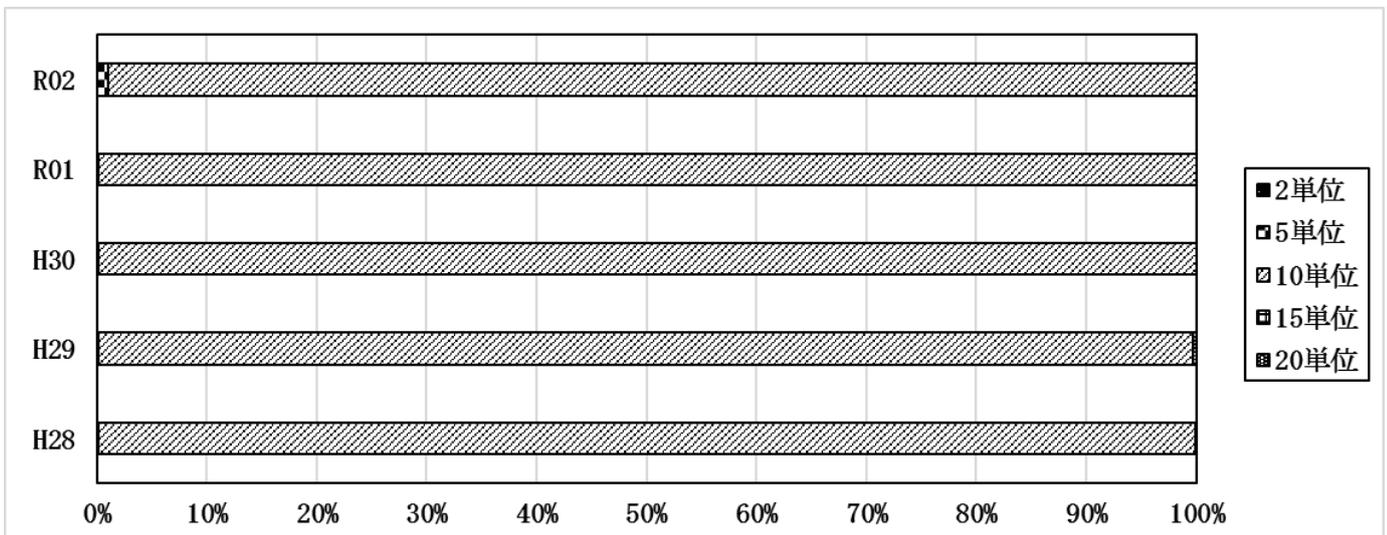
また、20単位製剤は平成16年度までは増加傾向にあり、平成17年度以降は、10本から40本（200～800単位）前後で推移していましたが、平成30年度以降は供給実績がほとんどありません。

このように血小板製剤の供給は、10単位製剤が98.0%と大部分を占めています。

【 血小板製剤単位別供給の経年変化 】



【 血小板製剤単位別供給比率の経年変化 】



④血漿製剤供給状況

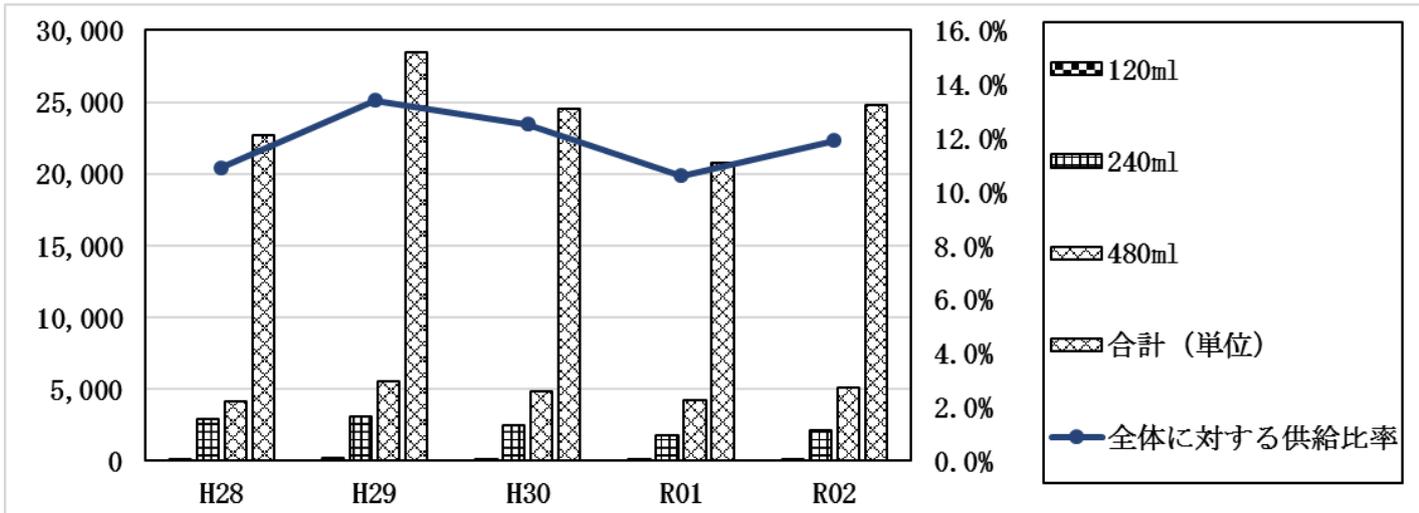
血漿製剤は、血液を遠心分離して上層の血漿だけを取りだしたもので、主に外傷や外科手術の時の凝固因子の確保や、それらの欠乏による出血傾向にあるときに使用される製剤です。

血漿製剤の供給は、令和2年度は24,760単位が供給されています。

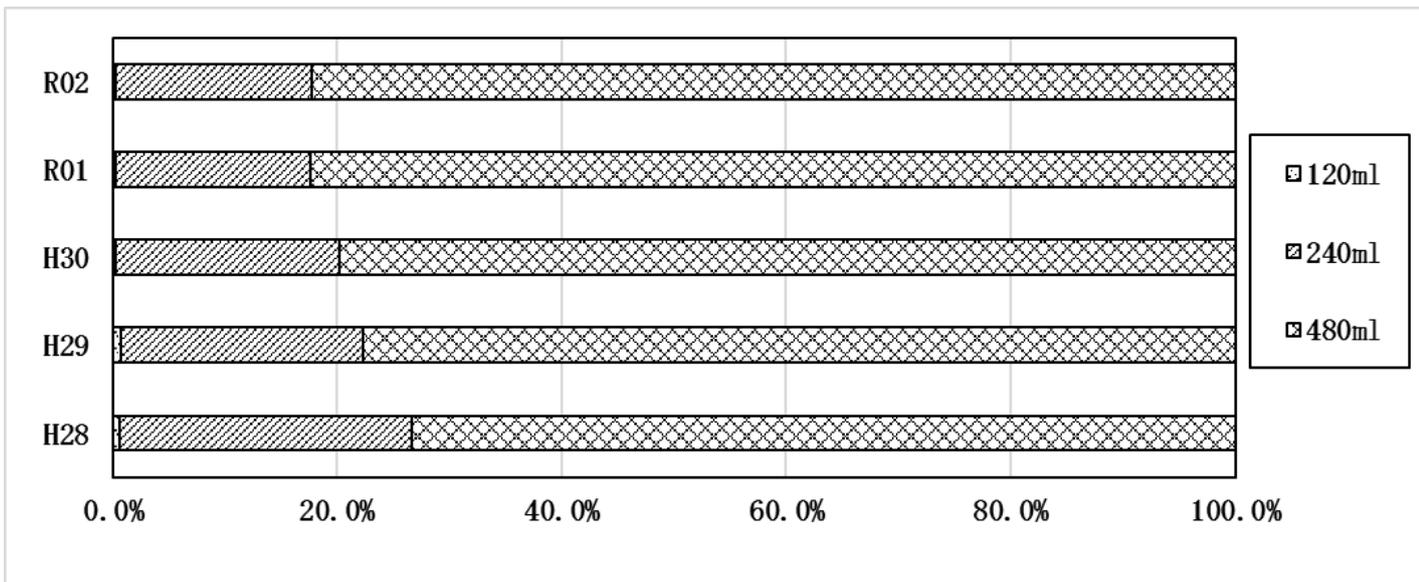
全体の製剤供給に対する比率は、令和2年度は11.9%となっています。

単位別に見ると、480ml製剤の使用量が多く、令和2年度の製剤別供給比率は82.3%となっています。

【 血漿製剤供給の経年変化 】



【 血漿製剤単位別供給比率の経年変化 】



このように、近年、県内医療機関への輸血用血液製剤の供給は、全血製剤がなくなり、血液成分製剤のうち赤血球製剤では2単位の人赤血球濃厚液が、血小板製剤では成分献血由来の10単位製剤が、血漿製剤では240ml及び480mlの新鮮凍結人血漿がそれぞれ主になっています。

【 血液製剤の供給状況 】

| 品名 | | 年度 | | H28 | H29 | H30 | R01 | R02 | 所属別 | |
|--------|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| | | | | | | | | | 長崎県 | 佐世保 |
| | | | | 1単位 | 2単位 | | | | | |
| 血液成分製剤 | 赤血球液 | 1単位 | | 436 | 385 | 341 | 443 | 252 | 234 | 18 |
| | | 2単位 | | 38,660 | 38,631 | 37,346 | 37,332 | 38,724 | 28,168 | 10,556 |
| | 解凍赤血球液 | 1単位 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 2単位 | | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| | 洗浄赤血球液 | 1単位 | | 10 | 19 | 21 | 42 | 41 | 42 | 0 |
| | | 2単位 | | 91 | 129 | 140 | 107 | 104 | 97 | 7 |
| | 白血球除去人赤血球浮遊液 | 1単位 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 2単位 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合成血液 | 1単位 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 2単位 | | 2 | 1 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | 計(本数) | | | 39,200 | 39,170 | 37,854 | 37,930 | 39,121 | 28,540 | 10,581 |
| | 計(単位) | | | 77,953 | 77,818 | 75,345 | 75,374 | 77,949 | 56,805 | 21,144 |
| | 割合 | | | 37.5% | 36.7% | 38.5% | 38.5% | 37.5% | 34.9% | 46.6% |
| | 血小板製剤 | 人血小板濃厚液 | 2単位 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5単位 | | | | 22 | 23 | 20 | 40 | 212 | 208 | 4 |
| 10単位 | | | | 10,729 | 10,537 | 9,551 | 9,926 | 10,415 | 8,614 | 1,801 |
| 15単位 | | | | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20単位 | | | | 2 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計(本数) | | | 10,753 | 10,576 | 9,572 | 9,966 | 10,627 | 8,822 | 1,805 | |
| 計(単位) | | | 107,440 | 105,800 | 95,625 | 99,460 | 105,210 | 87,180 | 18,030 | |
| 割合 | | | 51.6% | 49.9% | 48.9% | 50.9% | 50.6% | 53.6% | 39.8% | |
| 血漿製剤 | 新鮮凍結血漿 | 120ml | | 134 | 216 | 56 | 62 | 74 | 72 | 2 |
| | | 240ml | | 2,963 | 3,071 | 2,449 | 1,796 | 2,153 | 940 | 1,213 |
| | | 480ml | | 4,164 | 5,529 | 4,895 | 4,272 | 5,095 | 4,158 | 937 |
| | 計(本数) | | | 7,261 | 8,816 | 7,400 | 6,130 | 7,322 | 5,170 | 2,152 |
| | 計(単位) | | | 22,716 | 28,339 | 24,534 | 20,742 | 24,760 | 18,584 | 6,176 |
| | 割合 | | | 10.9% | 13.4% | 12.5% | 10.6% | 11.9% | 11.4% | 13.6% |
| 総供給本数 | | | | 57,214 | 58,562 | 54,826 | 54,026 | 57,070 | 42,532 | 14,538 |
| 総供給単位数 | | | | 208,109 | 211,957 | 195,504 | 195,576 | 207,919 | 162,569 | 45,350 |

※ 血漿製剤の単位換算について、従来120mlを1.5単位、240mlを3単位、480mlを5単位としていたが、平成28年度から各々1、2、4単位として算出するようになった。

3-3 血液製剤の供給方法

離島を数多くかかえ、地理的に特殊条件下にある長崎県では血液製剤の供給体制の確立には苦慮してきましたが、関係者のご協力により県下あまねく緊急時にも供給できるよう順次整備を行ってきました。

過去には、五島、壱岐、対馬にあつては、いわゆる枕元輸血に頼る場合も多く、そのため患者家族の負担も大きく献血推進の阻害にもなっていましたが、昭和53年度までに関係市町及び関係機関の協力を得て人赤血球濃厚液及び新鮮凍結人血漿の備蓄供給体制を整備しました。

さらに空港の整備により血液の緊急輸送もある程度可能となり離島の献血者の善意にも報いることができ、救急医療の面で大いに貢献しています。

令和元年4月からは、医療機関での備蓄運用を廃止するなど配送体制の見直しが行われ、県内全地域において、長崎県赤十字血液センターから医療機関へ直送する体制へ変更しています。

【 備蓄血液製剤の保管温度及び有効期間 】

| 品 名 | 保管温度 | 有効期間 |
|---------------|--------|-------|
| 赤 血 球 液 | 2～6℃ | 21 日間 |
| 新 鮮 凍 結 人 血 漿 | -20℃以下 | 1 年間 |
| 濃 厚 血 小 板 | 20～24℃ | 4 日間 |

3-4 離島における血液製剤使用状況

【 離島における血液成分製剤使用状況の経年変化 】

(本：200mL換算)

| 年度 保健所 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 |
|-----------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 五島保健所 | 5,629 | 4,944 | 4,496 | 3,260 | 4,296 |
| 上五島保健所 | 2,232 | 1,782 | 2,186 | 1,970 | 2,566 |
| 壱岐保健所 | 1,756 | 1,394 | 1,119 | 2,276 | 2,130 |
| 対馬保健所 | 2,528 | 1,298 | 1,508 | 2,114 | 2,688 |
| 計 | 12,145 | 9,418 | 9,309 | 9,620 | 11,680 |

※全血製剤、院内採血については過去5年間実績なし

4 令和3年度献血計画

| | |
|---------------------------------|---------------------|
| (1) 献血目標 (県全体) (人口: 1,310,658人) | |
| 200mL献血 | 501人 |
| 400mL献血 | 38,428人 |
| 血漿成分献血 | 13,366人 |
| 血小板成分献血 | 5,172人 |
| 合計 | 57,467人 (人口比: 4.4%) |
| 献血量 | 25,640L |

(献血目標内訳)

| | ① 市町 (長崎市、佐世保市を除く) | ② 長崎市 | ② 佐世保市 |
|---------|-----------------------|----------|----------|
| 人口 | 660,537人 | 406,313人 | 243,808人 |
| 人口比 | 2.9% | 5.9% | 5.9% |
| 合計 | 19,362人 | 23,806人 | 14,299人 |
| 200mL献血 | 250人 | 157人 | 94人 |
| 400mL献血 | 19,112人 | 12,068人 | 7,248人 |
| 血漿成分献血 | — | 8,350人 | 5,016人 |
| 血小板成分献血 | — | 3,231人 | 1,941人 |

※ 人口は令和2年10月1日現在の推定人口 (県統計課調べ)

(2) 令和3年度保健所別献血目標

| | 献血可能 人口 (人) | 200mL 献血 (人) | 400mL 献血 (人) | 血漿 成分献血 (人) | 血小板 成分献血 (人) | 合計 (人) | 献血量 (L) |
|--------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----------|------------|
| 長崎県 | 692,741 | 501 | 38,428 | 13,366 | 5,172 | 57,467 | 25,640 |
| 長崎市 | 217,542 | 157 | 12,068 | 8,350 | 3,231 | 23,806 | 11,211 |
| 佐世保市 | 130,666 | 94 | 7,248 | 5,016 | 1,941 | 14,299 | 6,734 |
| 西彼保健所 | 52,783 | 38 | 2,928 | — | — | 2,966 | 1,179 |
| 県央保健所 | 146,533 | 106 | 8,129 | — | — | 8,235 | 3,273 |
| 県南保健所 | 62,434 | 45 | 3,463 | — | — | 3,508 | 1,394 |
| 県北保健所 | 31,226 | 23 | 1,732 | — | — | 1,755 | 698 |
| 五島保健所 | 16,349 | 12 | 907 | — | — | 919 | 365 |
| 上五島保健所 | 9,281 | 7 | 515 | — | — | 522 | 207 |
| 壱岐保健所 | 11,877 | 9 | 659 | — | — | 668 | 265 |
| 対馬保健所 | 14,050 | 10 | 779 | — | — | 789 | 314 |

※ 献血可能人口とは16歳から64歳までの人口で、令和2年10月1日現在の推定人口 (県統計課調べ)